

宍粟市 子ども・子育て支援 新制度における
ニーズ調査

【結果報告書】

平成 26 年3月

宍 粟 市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1 調査の目的.....	2
2 調査概要.....	2
3 報告書の見方.....	2
II. 調査結果.....	3
1 お住まいの小学区について.....	4
2 お子さんご家族の状況について.....	5
3 子どもの育ちをめぐる環境について.....	8
4 保護者の就労状況について.....	15
5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）.....	23
6 地域の子育て支援事業の利用状況について.....	32
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の 利用希望について（就学前児童）.....	37
8 放課後の過ごし方について（小学生児童）.....	41
9 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）.....	47
10 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について.....	55
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童）.....	64
12 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童）.....	70
13 宍粟市の地域における子育て環境や、支援の満足度について.....	79
◆教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見〈自由回答〉.....	80

I . 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、「宍粟市子ども・子育て支援事業計画」を策定するにあたり、保育ニーズや宍粟市の子育て支援サービスの利用状況や利用意向、また、子育て世帯の生活実態、要望・意見などを把握することを目的に実施しました。

2 調査概要

- 調査地域： 宍粟市全域
- 調査対象者： 就学前児童：平成25年10月1日現在、宍粟市に住んでいる「就学前児童」をお持ちの世帯・保護者（就学前児童調査）
小学生児童：平成25年10月1日現在、宍粟市に住んでいる「小学生児童」をお持ちの世帯・保護者（小学生児童調査）
- 抽出方法： 住民基本台帳より、就学前児童（0歳～5歳）の末子がいる全世帯1,441件、小学生（6歳～11歳）の末子がいる世帯から1,000件を無作為抽出
- 調査期間： 平成25年11月29日（金）～平成25年12月13日（金）
- 調査方法： 郵送配布・郵送回収による郵送調査法

調査票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,440	646	44.9%
小学生児童	1,000	447	44.7%
合計	2,440	1,093	44.8%

3 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

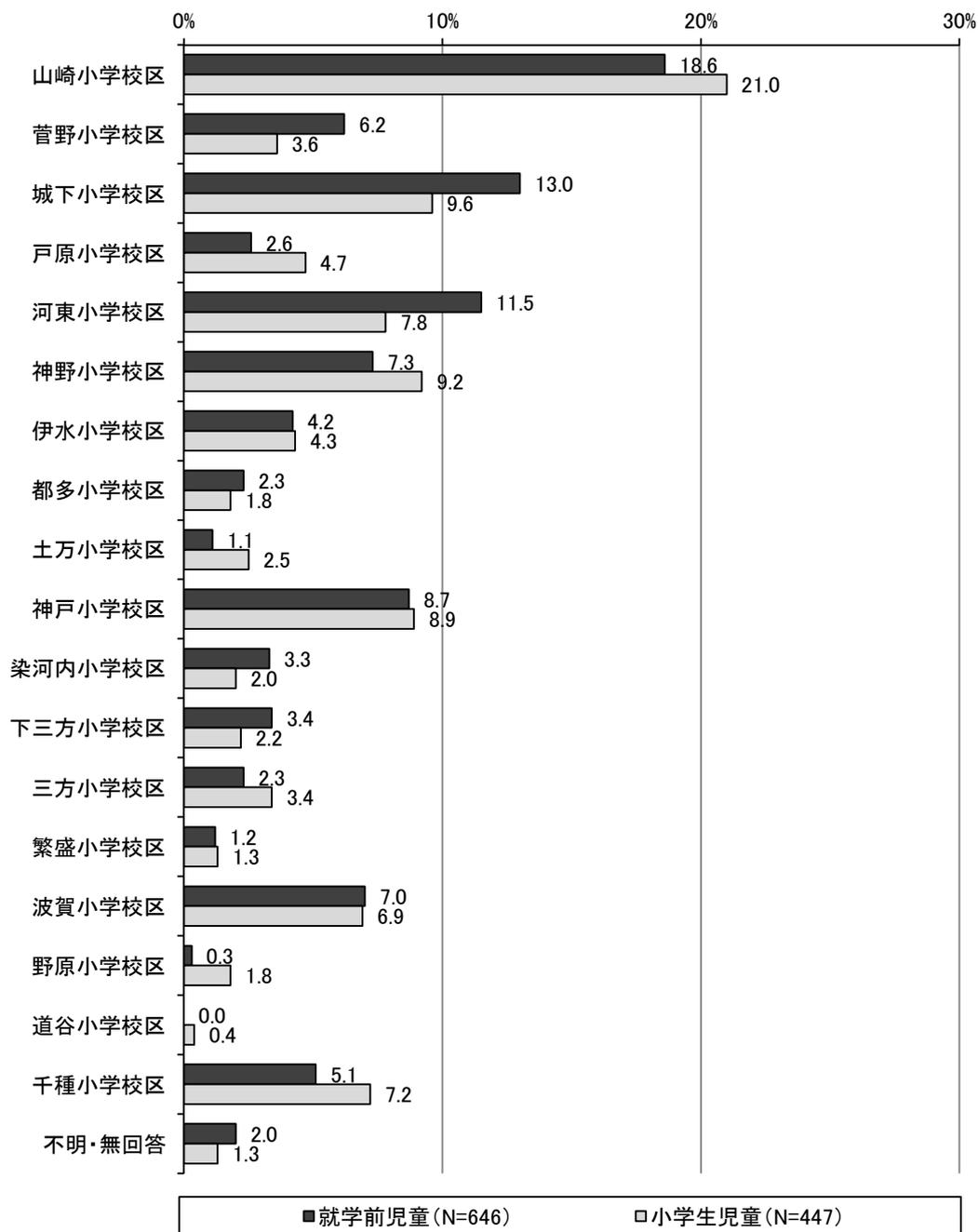
Ⅱ. 調査結果

(就学前児童調査・小学生児童調査)

1 お住まいの小学校区について

(1) 居住小学校区〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問1〕

居住小学校区についてみると、「山崎小学校区」が就学前児童で 18.6%、小学生児童で 21.0%と最も高くなっています。



2 お子さんのご家族の状況について

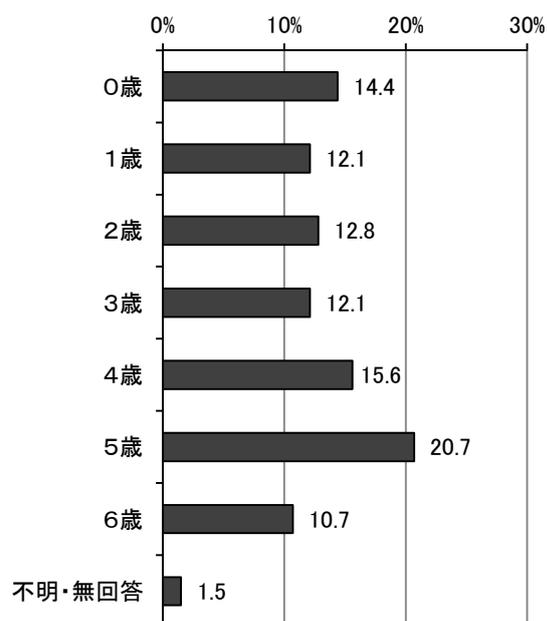
(1) 対象の子どもの年齢と学年（平成25年11月1日現在）〈数量回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問2〕

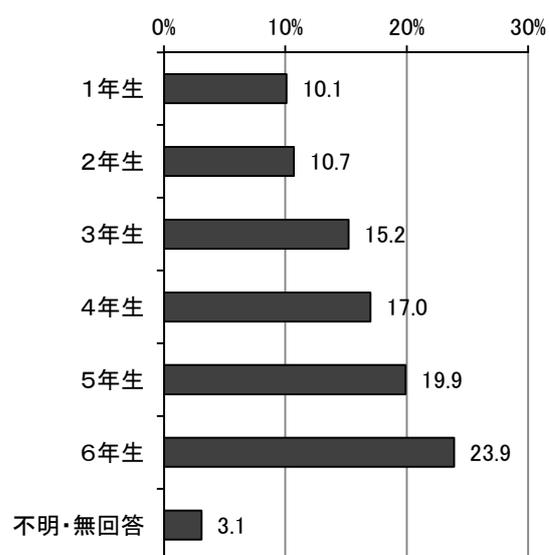
年齢についてみると、5歳が20.7%、4歳が15.6%、0歳が14.4%となっています。

学年についてみると、6年生が23.9%、5年生が19.9%、3年生が17.0%となっています。

就学前児童(N=646)



小学生児童(N=447)

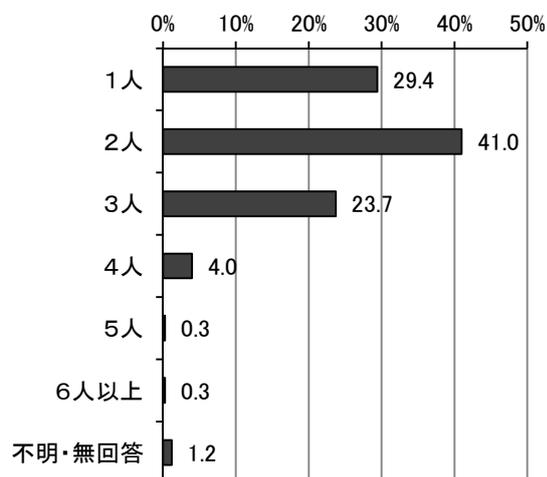


(2) 子どもの人数〈数量回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問3〕

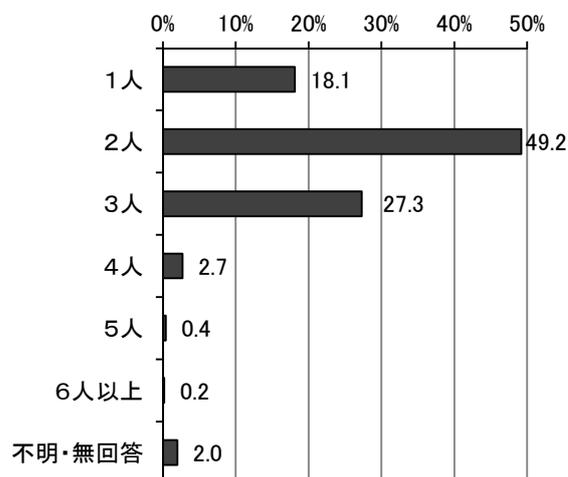
子どもの人数についてみると、「2人」が就学前児童で41.0%、小学生児童で49.2%と最も高く、次いで、就学前児童では「1人」が29.4%、小学生児童では「3人」が27.3%となっています。

子どもが2人以上いる場合の末子の年齢についてみると、就学前児童では「0歳」が17.6%と最も高く、小学生児童では「9歳」が17.9%と最も高くなっています。

就学前児童(N=646)

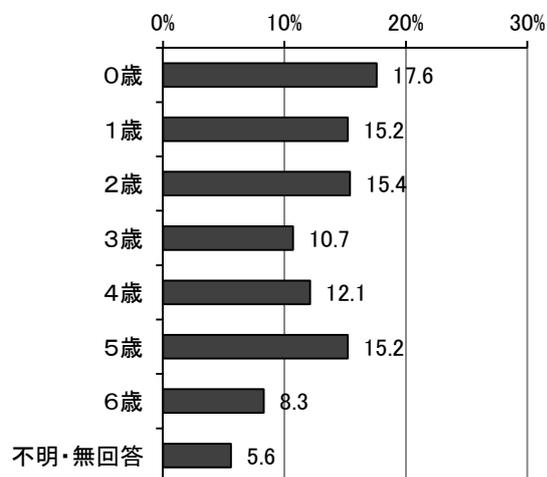


小学生児童(N=447)

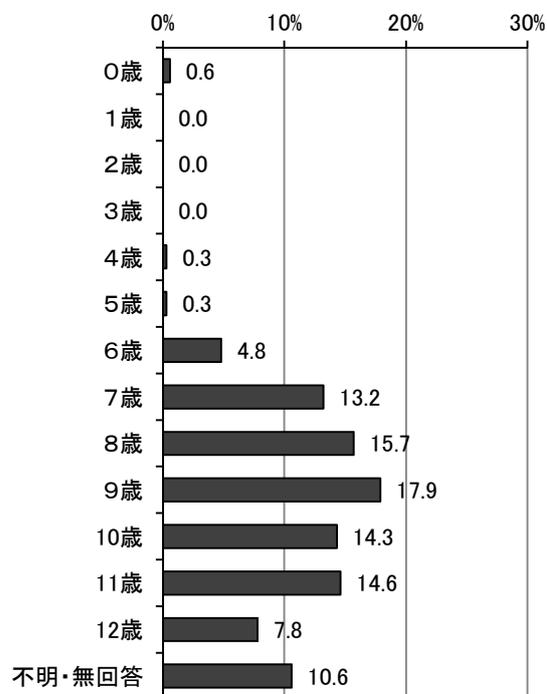


◎子どもが2人以上いる場合の末子の年齢（平成25年11月1日現在）〈数量回答〉

就学前児童(N=448)

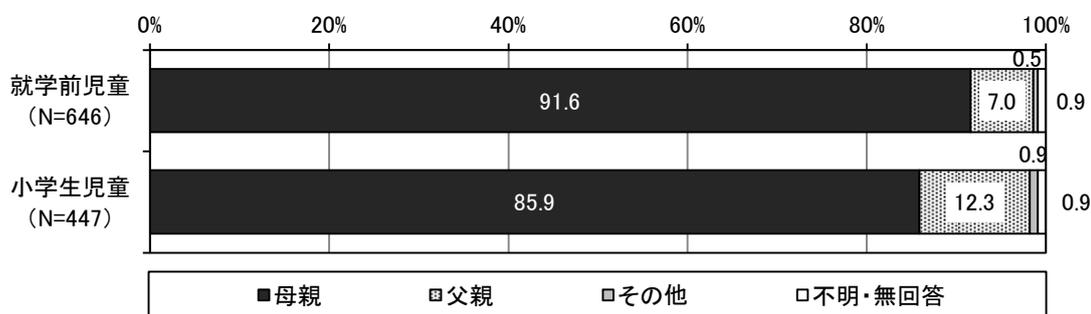


小学生児童(N=357)



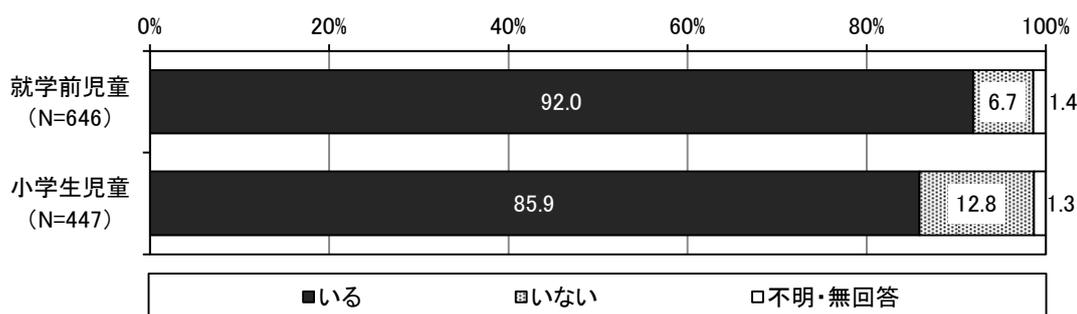
(3) 調査票の回答者〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問4〕

回答者についてみると、「母親」が就学前児童で91.6%、小学生児童で85.9%と最も高く、大部分を占めています。



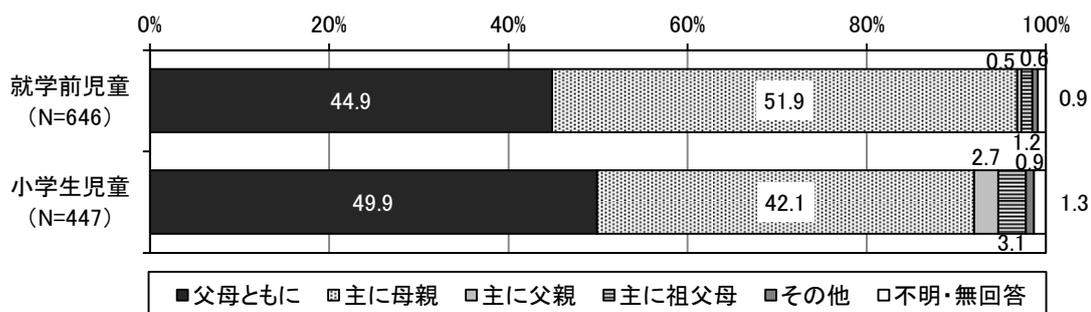
(4) 調査票の回答者の配偶関係の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問5〕

回答者の配偶関係の有無についてみると、「いる」が就学前児童で92.0%、小学生児童で85.9%となっています。



(5) 子育てを主に行っている方〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問6〕

子育てを主に行っている方についてみると、就学前児童では「主に母親」が51.9%と最も高く、次いで「父母ともに」が44.9%となっています。一方、小学生児童では「父母ともに」が49.9%と最も高く、次いで「主に母親」が42.1%となっています。



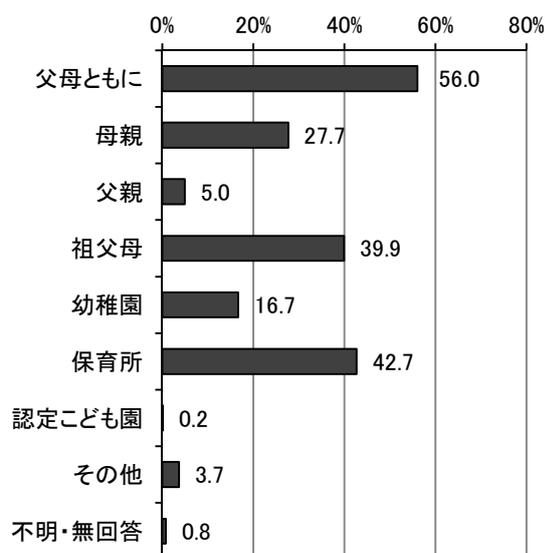
3 子どもの育ちをめぐる環境について

(1) 子育てに日常的に関わっている方(施設)〈複数回答〉

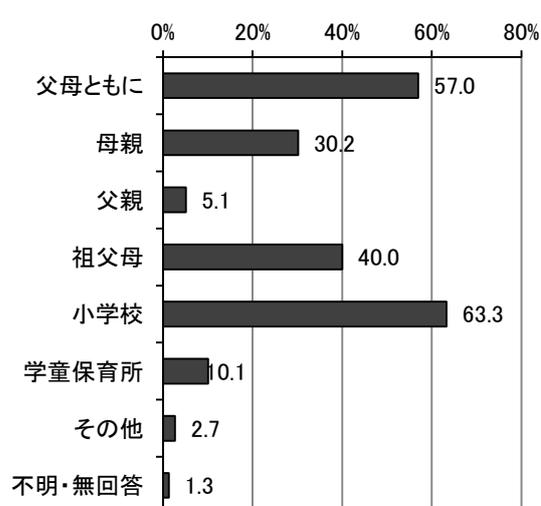
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問7〕

子育てに日常的に関わっている方(施設)についてみると、就学前児童では「父母ともに」が56.0%と最も高く、次いで「保育所」が42.7%となっています。一方、小学生児童では「小学校」が63.3%と最も高く、次いで「父母ともに」が57.0%となっています。

就学前児童(N=646)



小学生児童(N=447)

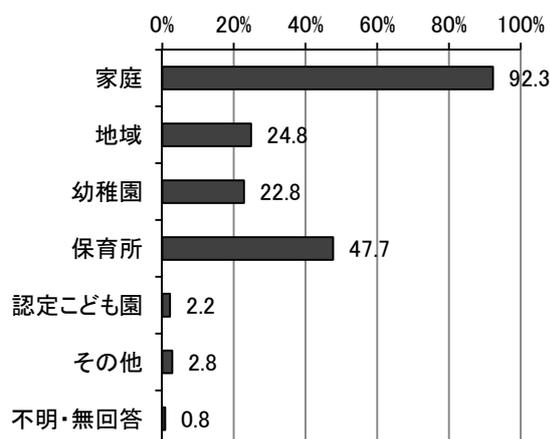


(2) 子育てや教育に影響すると思われる環境〈複数回答〉

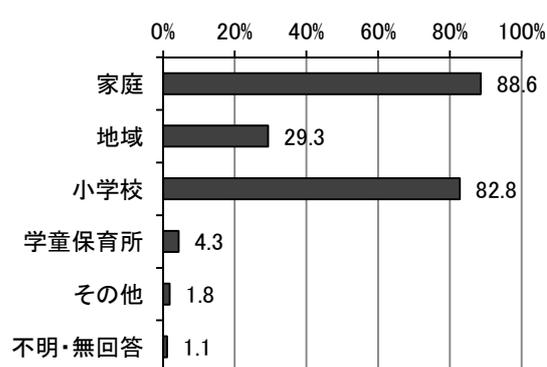
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問8〕

子育てや教育に影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が就学前児童で92.3%、小学生児童で88.6%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「保育所」が47.7%、小学生児童では「小学校」が82.8%となっています。

就学前児童(N=646)



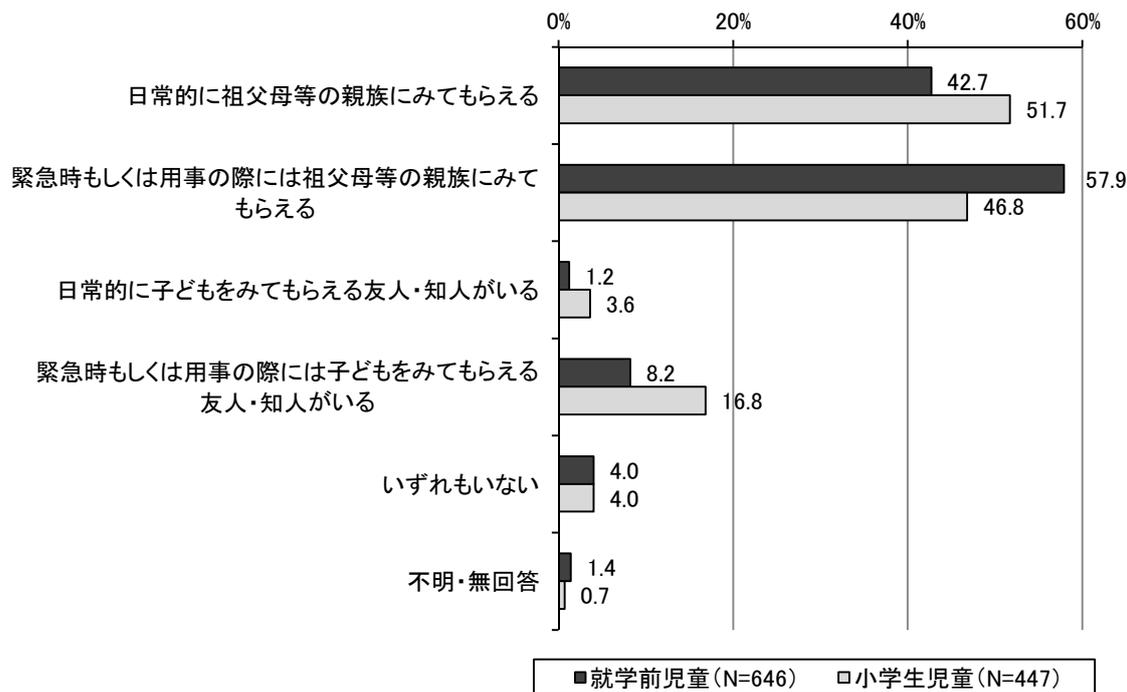
小学生児童(N=447)



(3) 日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9〕

日頃、子どもをみてもらえる親族・知人の有無についてみると、就学前児童では「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が57.9%と最も高く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が42.7%となっています。一方、小学生児童では「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が51.7%と最も高く、次いで、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が46.8%となっています。

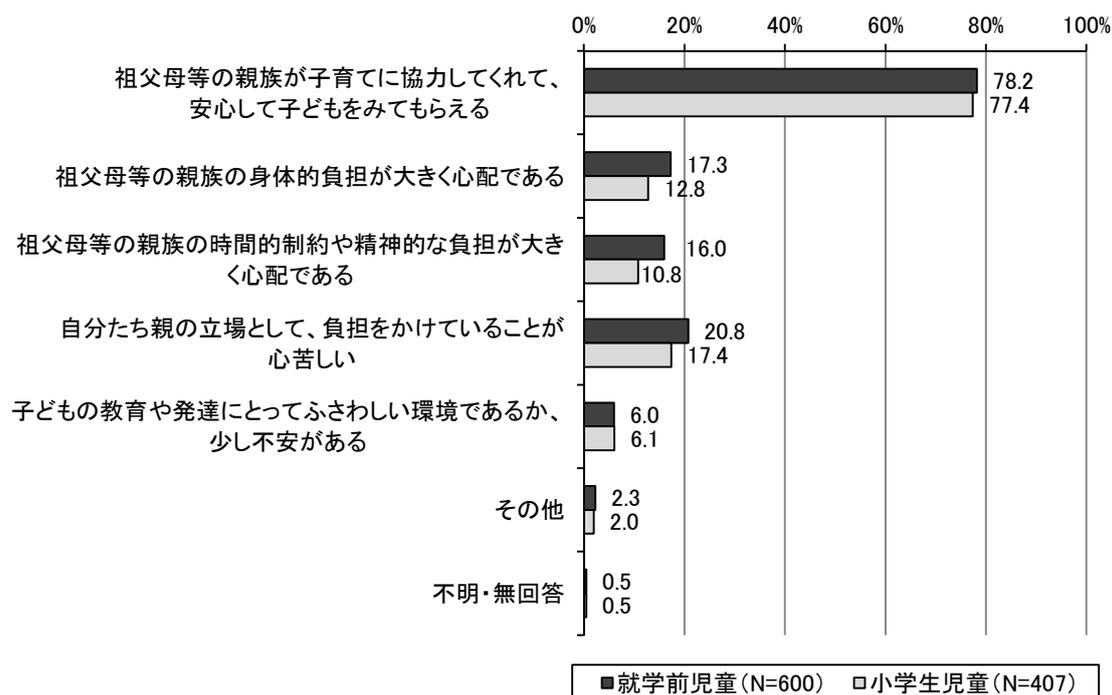


(3)で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」または「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方

(3) - 1 祖父母等の親族にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9-1〕

祖父母等の親族にみてもらっている状況についてみると、「祖父母等の親族が子育てに協力してくれて、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で78.2%、小学生児童で77.4%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で20.8%、小学生児童で17.4%となっています。

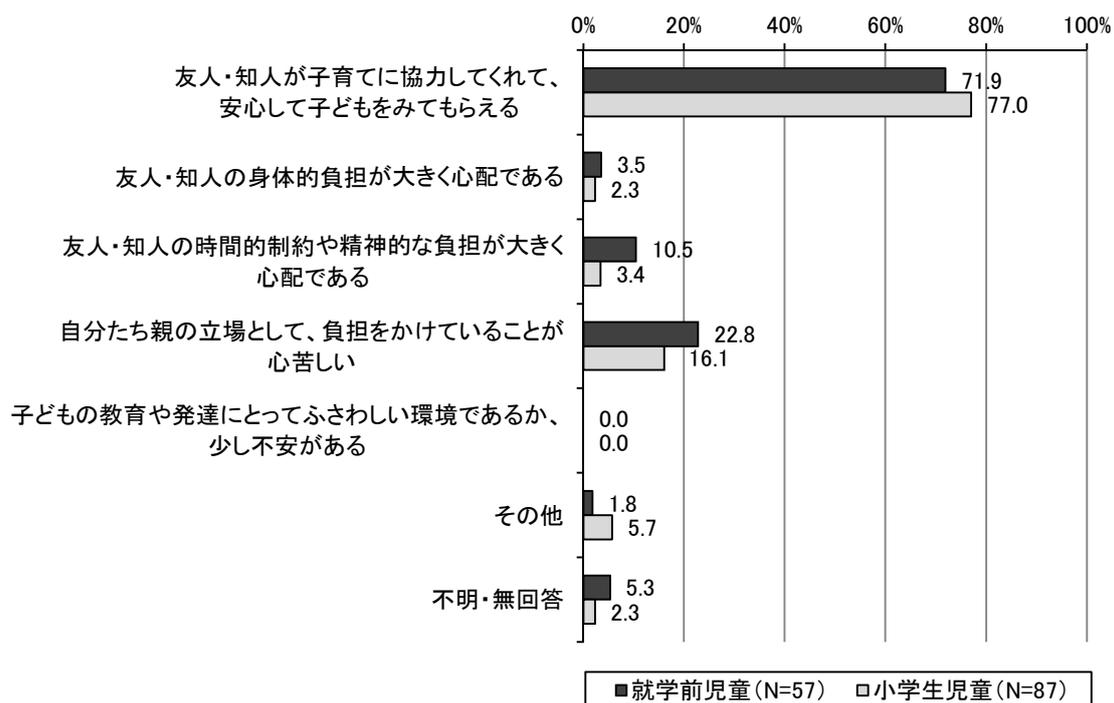


(3)で「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」または「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」を選んだ方

(3)－2 友人・知人にみてもらっている状況〈複数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問9－2〕

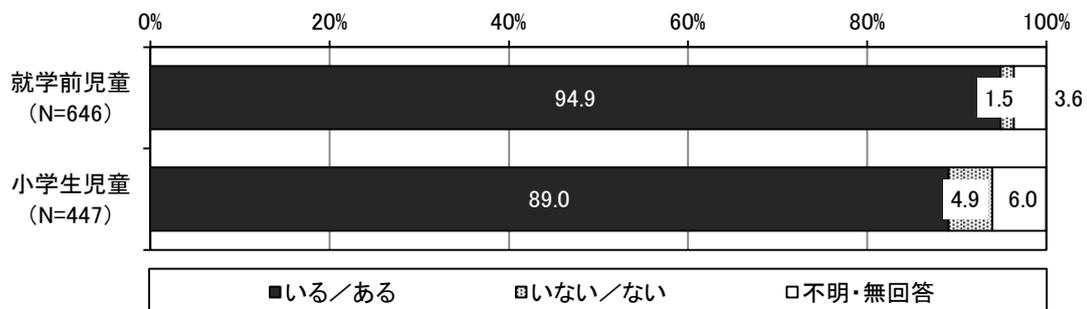
友人・知人にみてもらっている状況についてみると、「友人・知人が子育てに協力してくれて、安心して子どもをみてもらえる」が就学前児童で71.9%、小学生児童で77.0%と最も高く、次いで、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前児童で22.8%、小学生児童で16.1%となっています。



(4) 子育てをする上での相談相手や相談できる場所の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10〕

子育てをする上での相談相手(場所)の有無についてみると、「いる／ある」が就学前児童で 94.9%、小学生児童で 89.0%となっています。



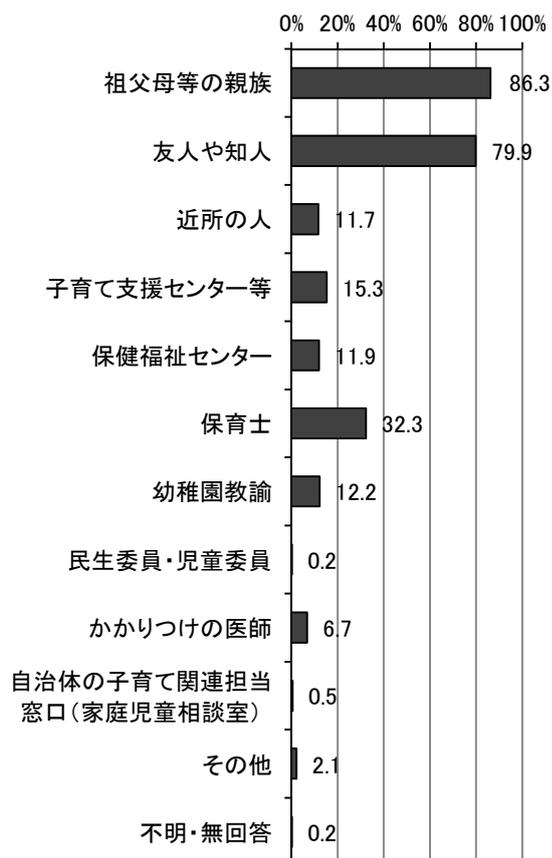
(4)で「いる／ある」を選んだ方

(4)－1 気軽に相談できる先〈複数回答〉

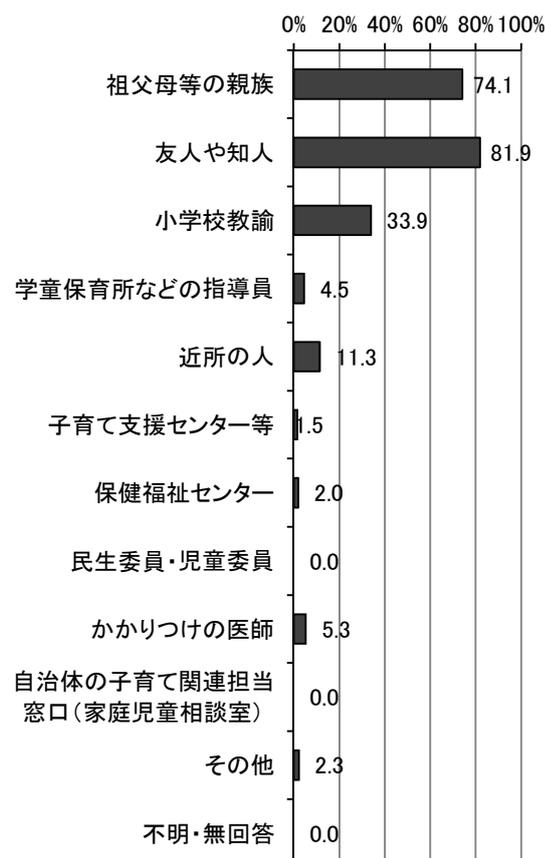
〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 10－1〕

気軽に相談できる先についてみると、就学前児童では「祖父母等の親族」が86.3%、小学生児童では「友人や知人」が81.9%と最も高くなっています。次いで、就学前児童では「友人や知人」が79.9%、小学生児童では「祖父母等の親族」が74.1%となっています。

就学前児童(N=613)



小学生児童(N=398)



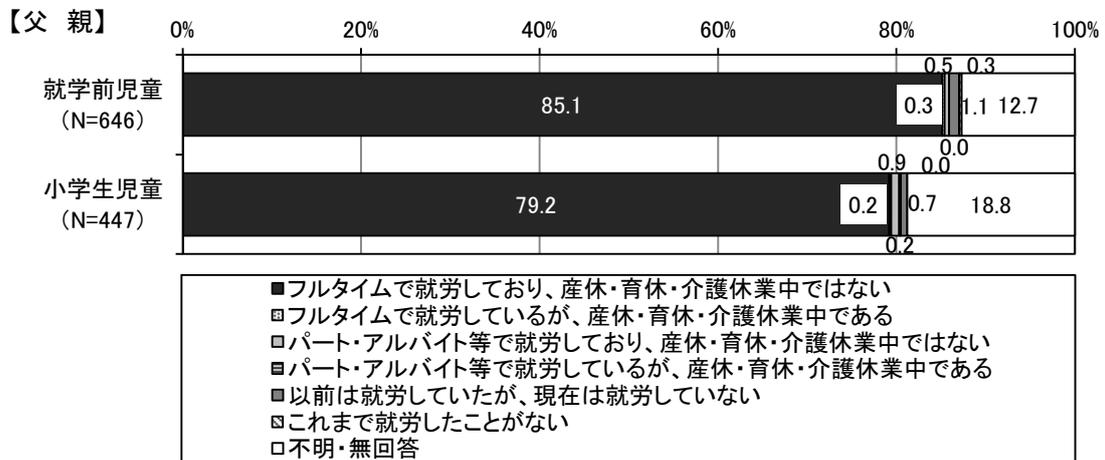
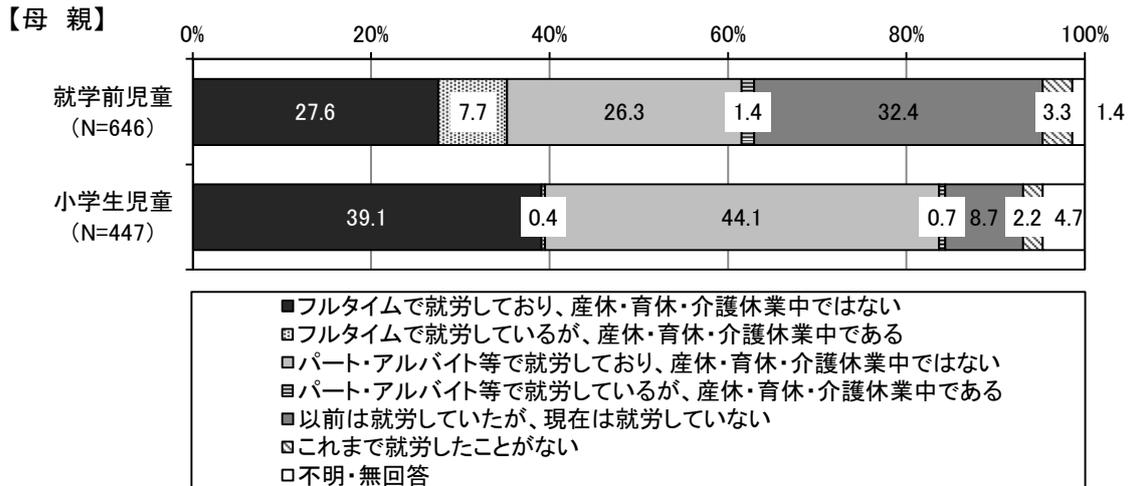
(5) 子育てをする上で、周囲からあればよいと思うサポート〈自由回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問11〕

4 保護者の就労状況について

(1) 保護者の就労状況〈単数回答〉〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 12〕

保護者の就労状況についてみると、母親では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が就学前児童で32.4%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が小学生児童で44.1%と最も高くなっています。父親では「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が就学前児童で85.1%、小学生児童で79.2%と最も高くなっています。



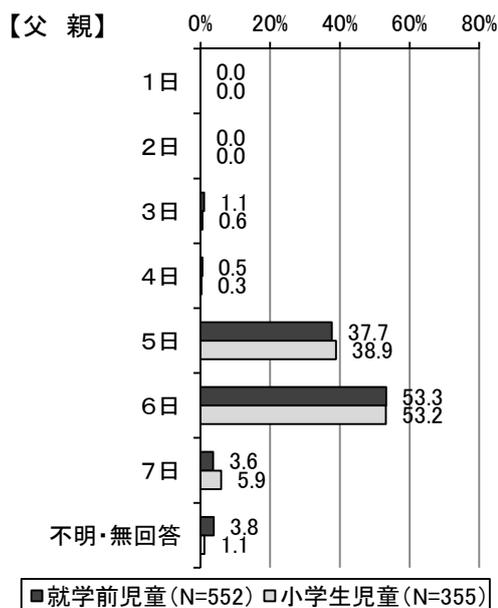
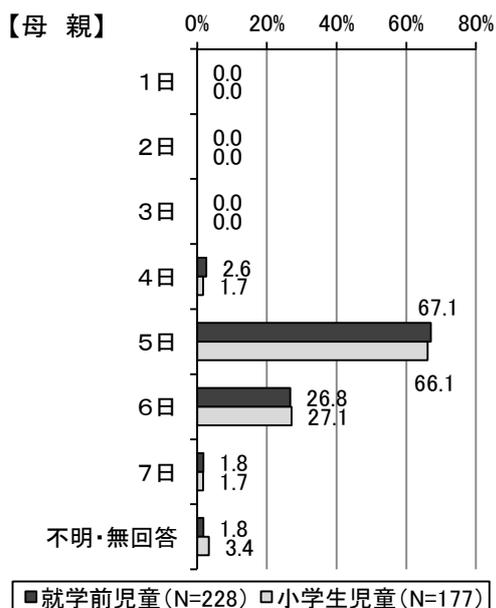
* 「フルタイム」：1週5日程度・1日8時間程度の就労
「パート・アルバイト等」：フルタイム以外の就労

●フルタイムで就労している保護者の状況

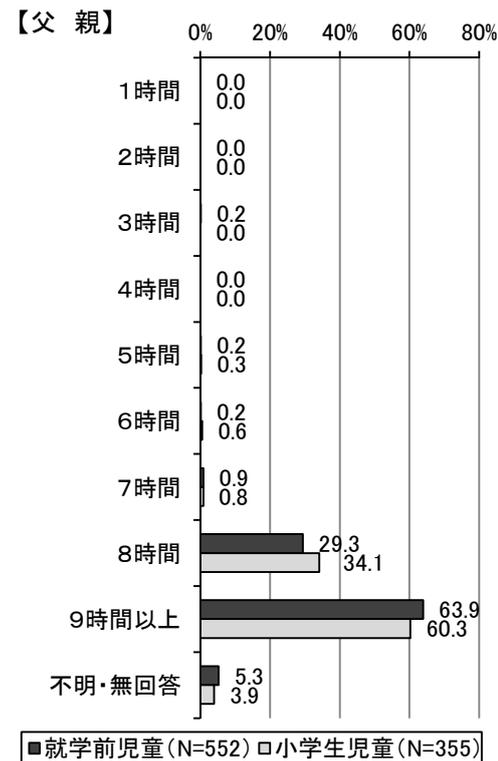
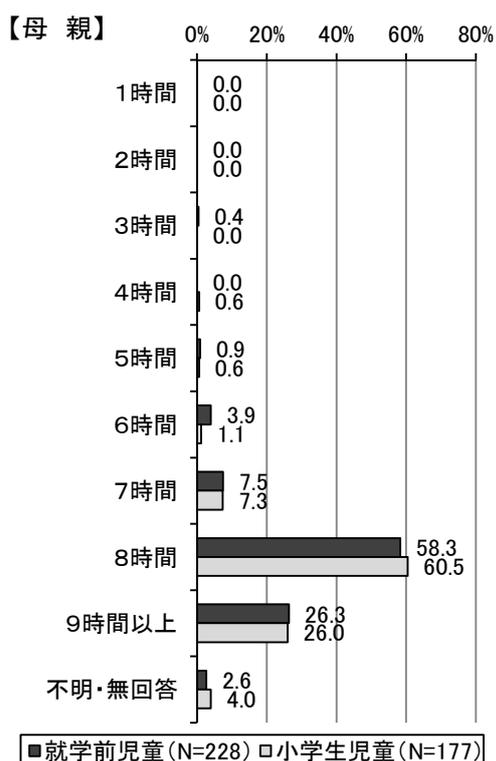
フルタイムで就労している保護者の状況についてみると、1週あたりの就労日数では、就学前児童、小学生児童ともに母親では「5日」、父親では「6日」の割合がそれぞれ最も高く、特に母親では7割近くとなっています。

1日あたりの就労時間では、就学前児童、小学生児童ともに母親では「8時間」、父親では「9時間以上」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

① 1週あたりの就労日数・フルタイム〈数量回答〉



② 1日あたりの就労時間・フルタイム〈数量回答〉



家を出る時間では、就学前児童、小学生児童の母親、父親ともに「7～8時」の割合が最も高くなっています。

帰宅時間では、就学前児童、小学生児童ともに母親では「17～18時」、父親では「19～20時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

③家を出る時間・フルタイム〈数量回答〉

【母親】 家を出る時間	就学前児童 (N=228)		小学生児童 (N=177)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	1	0.4	2	1.1
5～6時	9	3.9	6	3.4
7～8時	183	80.3	133	75.1
9～10時	19	8.3	14	7.9
11～12時	1	0.4	0	0.0
13～14時	0	0.0	0	0.0
15～16時	0	0.0	0	0.0
17～18時	0	0.0	1	0.6
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	15	6.6	21	11.9

【父親】 家を出る時間	就学前児童 (N=552)		小学生児童 (N=355)	
	件数	%	件数	%
1～2時	4	0.7	3	0.8
3～4時	20	3.6	10	2.8
5～6時	99	17.9	69	19.4
7～8時	358	64.9	227	63.9
9～10時	15	2.7	9	2.5
11～12時	2	0.4	2	0.6
13～14時	0	0.0	1	0.3
15～16時	1	0.2	0	0.0
17～18時	0	0.0	1	0.3
19～20時	2	0.4	0	0.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	51	9.2	33	9.3

④帰宅時間・フルタイム〈数量回答〉

【母親】 帰宅時間	就学前児童 (N=228)		小学生児童 (N=177)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	1	0.6
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	0	0.0	0	0.0
9～10時	0	0.0	0	0.0
11～12時	1	0.4	0	0.0
13～14時	0	0.0	0	0.0
15～16時	10	4.4	4	2.3
17～18時	145	63.6	106	59.9
19～20時	54	23.7	43	24.3
21～22時	3	1.3	2	1.1
23～24時	1	0.4	1	0.6
不明・無回答	14	6.1	20	11.3

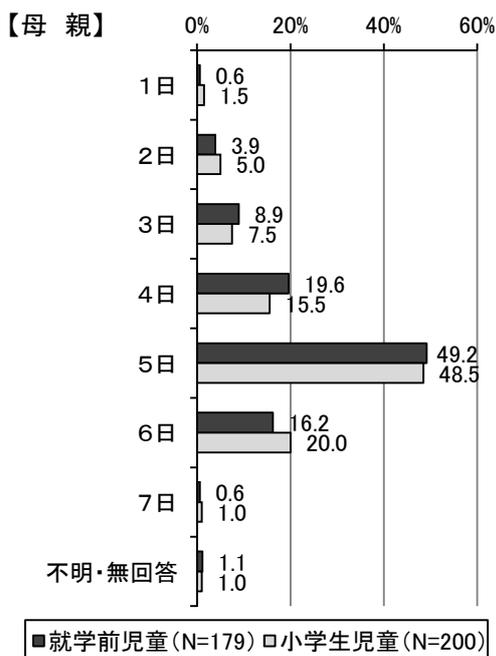
【父親】 帰宅時間	就学前児童 (N=552)		小学生児童 (N=355)	
	件数	%	件数	%
1～2時	2	0.4	1	0.3
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	1	0.2	0	0.0
9～10時	6	1.1	3	0.8
11～12時	1	0.2	0	0.0
13～14時	2	0.4	0	0.0
15～16時	10	1.8	7	2.0
17～18時	161	29.2	109	30.7
19～20時	235	42.6	133	37.5
21～22時	72	13.0	57	16.1
23～24時	9	1.6	12	3.4
不明・無回答	53	9.6	33	9.3

●パートタイム・アルバイト等で就労している保護者の状況

パートタイム、アルバイト等で就労している保護者の状況についてみると、1週あたりの就労日数では、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5日」、就学前児童の父親では「4～6日」、小学生児童の父親では「5日」の割合が最も高くなっています。

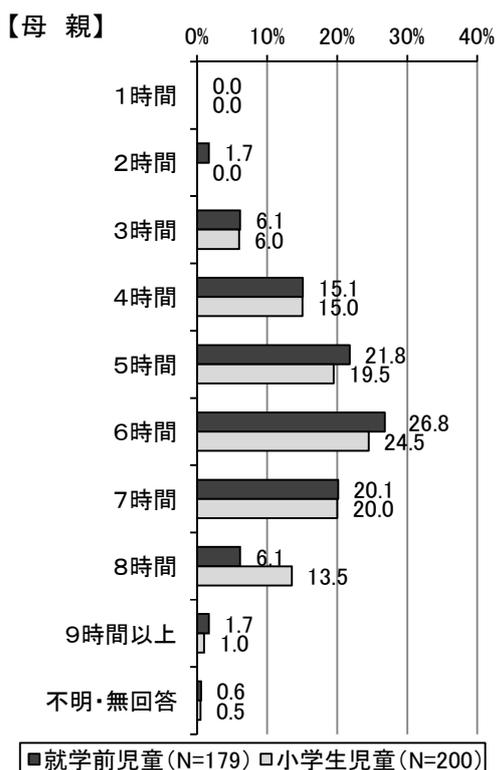
1日あたりの就労時間では、母親では就学前児童、小学生児童ともに「6時間」の割合が最も高く、就学前児童の父親では「4時間」、小学生児童の父親では「8時間」の割合が最も高くなっています。

① 1週あたりの就労日数・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉



【父親】 就労日数	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	1	20.0
2日	0	0.0	0	0.0
3日	0	0.0	0	0.0
4日	1	33.3	1	20.0
5日	1	33.3	2	40.0
6日	1	33.3	0	0.0
7日	0	0.0	1	20.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

② 1日あたりの就労時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉



【父親】 就労時間	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1時間	0	0.0	0	0.0
2時間	0	0.0	0	0.0
3時間	0	0.0	0	0.0
4時間	2	66.7	0	0.0
5時間	0	0.0	0	0.0
6時間	0	0.0	0	0.0
7時間	0	0.0	0	0.0
8時間	0	0.0	4	80.0
9時間以上	1	33.3	1	20.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

家を出る時間では、就学前児童、小学生児童の母親、父親ともに「7～8時」の割合が最も高くなっています。

帰宅時間では、就学前児童の母親では「17～18時」、小学生児童の母親では「16～17時」、父親では就学前児童・小学生児童ともに「17～18時」の割合が最も高くなっています。

③家を出る時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉

【母親】 家を出る時間	就学前児童 (N=179)		小学生児童 (N=200)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	2	1.0
5～6時	1	0.6	6	3.0
7～8時	114	63.7	125	62.5
9～10時	40	22.3	41	20.5
11～12時	5	2.8	5	2.5
13～14時	5	2.8	4	2.0
15～16時	0	0.0	3	1.5
17～18時	0	0.0	1	0.5
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	1	0.5
23～24時	1	0.6	0	0.0
不明・無回答	13	7.3	12	6.0

【父親】 家を出る時間	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	2	66.7	4	80.0
9～10時	0	0.0	0	0.0
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	0	0.0	0	0.0
15～16時	1	33.3	0	0.0
17～18時	0	0.0	0	0.0
19～20時	0	0.0	0	0.0
21～22時	0	0.0	1	20.0
23～24時	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

④帰宅時間・パートタイム、アルバイト等〈数量回答〉

【母親】 帰宅時間	就学前児童 (N=179)		小学生児童 (N=200)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	0	0.0
7～8時	1	0.6	1	0.5
9～10時	0	0.0	1	0.5
11～12時	11	6.1	8	4.0
13～14時	21	11.7	33	16.5
15～16時	61	34.1	70	35.0
17～18時	66	36.9	60	30.0
19～20時	3	1.7	8	4.0
21～22時	2	1.1	3	1.5
23～24時	0	0.0	3	1.5
不明・無回答	14	7.8	13	6.5

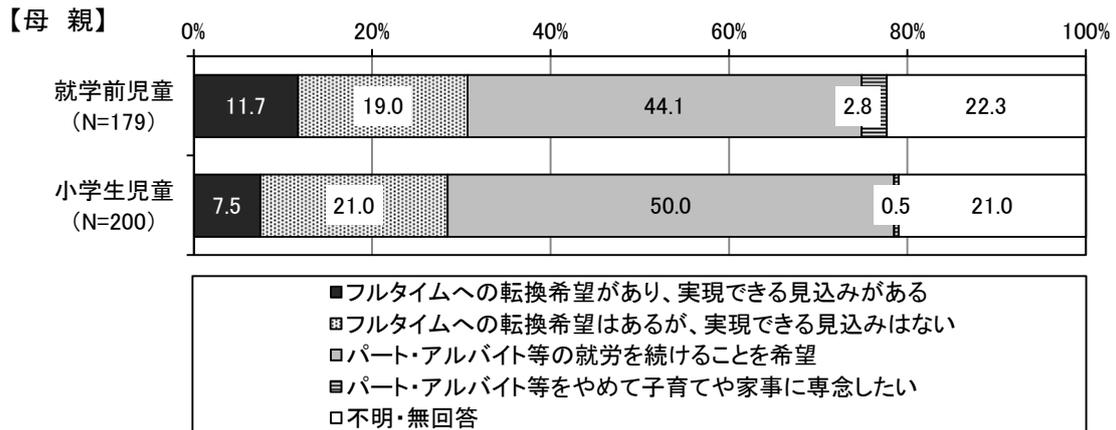
【父親】 帰宅時間	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1～2時	0	0.0	0	0.0
3～4時	0	0.0	0	0.0
5～6時	0	0.0	1	20.0
7～8時	0	0.0	0	0.0
9～10時	0	0.0	0	0.0
11～12時	0	0.0	0	0.0
13～14時	1	33.3	0	0.0
15～16時	0	0.0	0	0.0
17～18時	2	66.7	2	40.0
19～20時	0	0.0	1	20.0
21～22時	0	0.0	0	0.0
23～24時	0	0.0	1	20.0
不明・無回答	0	0.0	0	0.0

(1)で「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」または「パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である」を選んだ方

(2)パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 13〕

パート・アルバイト等で就労している方のフルタイムへの転換希望についてみると、母親では「パートタイム・アルバイト等の就労を続けることを希望」が就学前児童で44.1%、小学生児童で50.0%と最も高くなっています。



【父親】 フルタイムへの転換希望	就学前児童 (N=3)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	0	0.0	0	0.0
フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	1	33.3	3	60.0
パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	2	66.7	1	20.0
パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	1	20.0

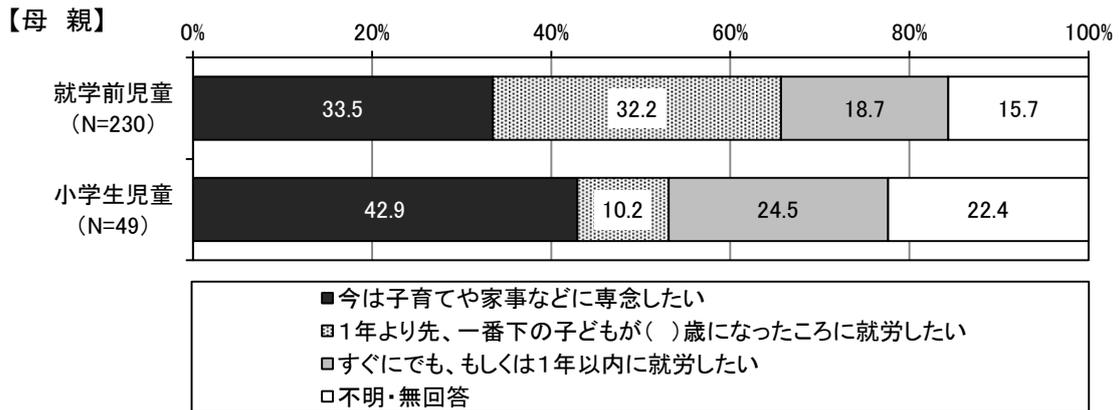
(1)で「以前は就労していたが、現在は就労していない」または「これまで就労したことがない」を選んだ方

(3) 現在、就労していない方の就労希望〈単数回答〉

[就学前児童調査・小学生児童調査…問 14]

現在就労していない方の就労希望についてみると、母親では「今は子育てや家事などに専念したい」が就学前児童で33.5%、小学生児童で42.9%と最も高くなっています。

また、一番下の子どもが何歳になれば就労したいかでは、就学前児童の母親では「5歳」が20.3%、小学生児童の母親では「12歳」の回答が2件と最も高くなっています。



【父親】 就労希望	就学前児童 (N=9)		小学生児童 (N=3)	
	件数	%	件数	%
子育てや家事などに専念したい	1	11.1	1	33.3
1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい	0	0.0	0	0.0
すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	1	11.1	0	0.0
不明・無回答	7	77.8	2	66.7

①一番下の子どもが何歳になれば就労したいか〈数量回答〉

《「1年より先、一番下の子どもが()歳になったところに就労したい」を選んだ方》

※【父親】

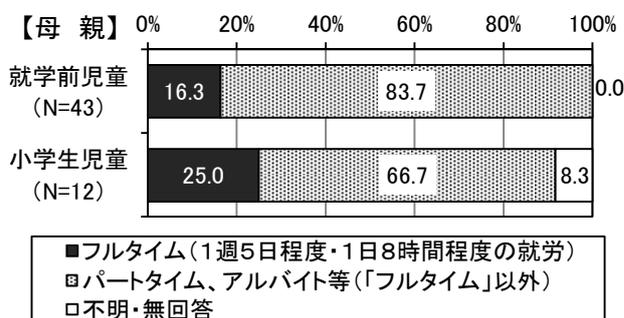
就学前児童・小学生児童ともに回答はありませんでした。

【母親】 就労したい時の 末子の年齢	就学前児童 (N=74)		小学生児童 (N=5)	
	件数	%	件数	%
1歳	6	8.1	0	0.0
2歳	7	9.5	0	0.0
3歳	9	12.2	0	0.0
4歳	8	10.8	0	0.0
5歳	15	20.3	0	0.0
6歳	12	16.2	0	0.0
7歳	10	13.5	0	0.0
8歳	1	1.4	0	0.0
9歳	0	0.0	1	20.0
10歳	4	5.4	0	0.0
11歳	0	0.0	0	0.0
12歳	0	0.0	2	40.0
13歳以上	0	0.0	1	20.0
不明・無回答	2	2.7	1	20.0

『すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい』方の希望する就労形態については、母親では「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が就学前児童で83.7%、小学生児童で66.7%と最も高くなっています。

また、パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）を選んだ方の希望する1週あたりの就労日数については、母親では就学前児童、小学生児童ともに「5日」の割合が最も高くなっています。希望する1日あたりの就労時間では、就学前児童の母親では「6時間」、小学生児童の母親では「5時間」の割合が最も高くなっています。

②希望する就労形態〈単数回答〉《「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」を選んだ方》



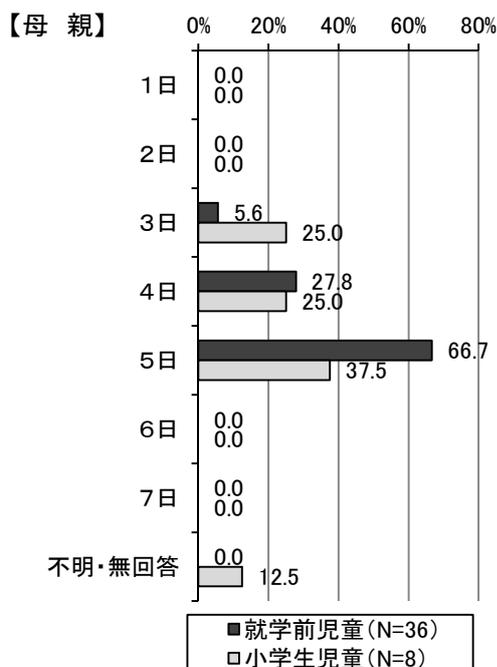
※【父親】

就学前調査で「フルタイム」に1件の回答がありました。
 小学生調査は、
 回答がありませんでした。

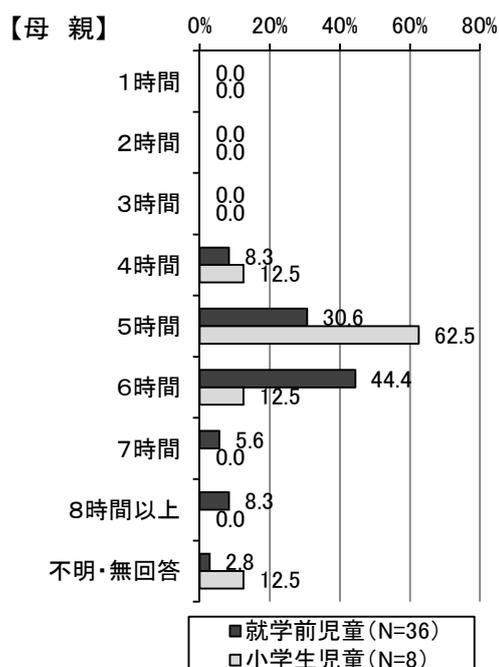
③パートタイム、アルバイト等で希望する就労形態〈数量回答〉

《②で「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を選んだ方》

■希望する1週あたりの就労日数



■希望する1日あたりの就労時間



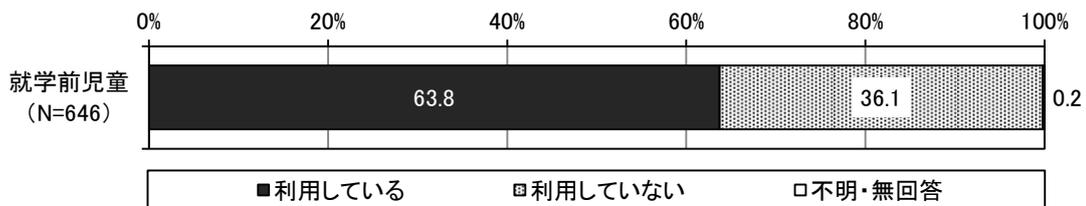
※【父親】 就学前調査・小学生調査ともに、回答がありませんでした。

5 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について（就学前児童）

（1）現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 15〕

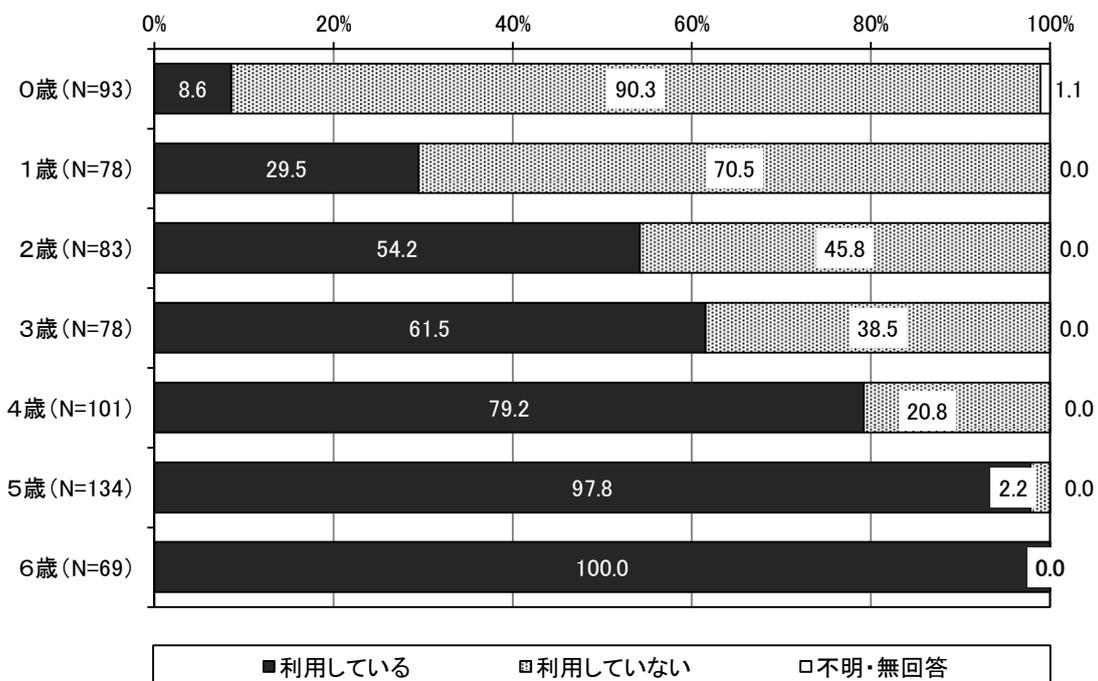
現在の定期的な教育・保育事業の利用の有無についてみると、「利用している」が63.8%と最も高くなっています。



*ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指す。
具体的には、幼稚園や保育所など、(1)－1に示す事業が含まれる。

年齢別 × 平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無

年齢別にみると、[3歳]以上で「利用している」割合が6割を超えています。また、[2歳]以上で「利用している」割合が「利用していない」割合を上回っており、年齢が上がるにつれて高くなっています。



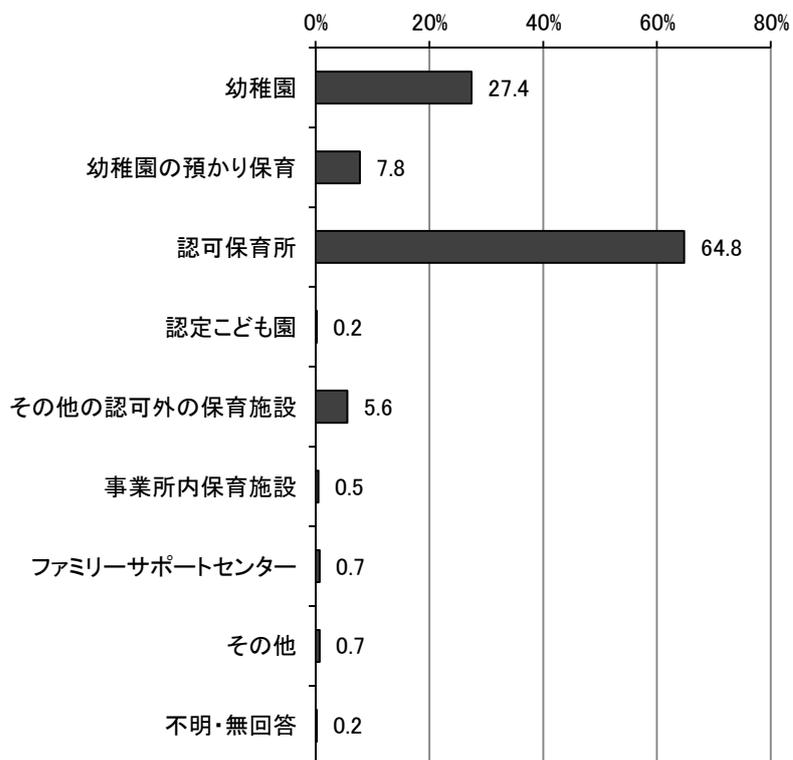
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－1 平日に利用している教育・保育事業〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 15－1〕

平日に利用している教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が64.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が27.4%、「幼稚園の預かり保育」が7.8%となっています。

就学前児童(N=412)



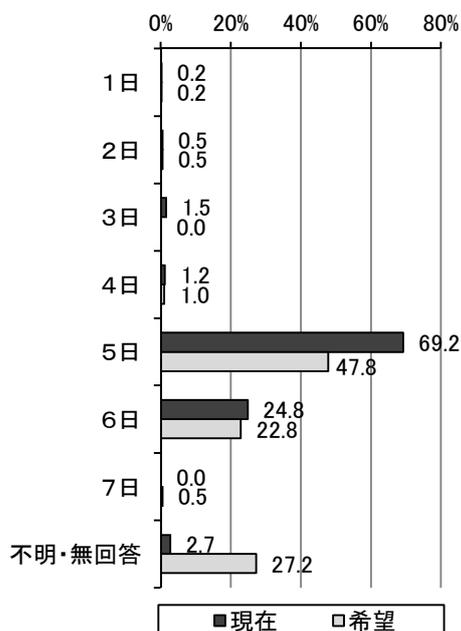
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－2 平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望〈数量回答〉〔就学前児童調査…問15－2〕

平日に利用している教育・保育事業の現在の状況と、今後の利用希望についてみると、1週あたりの利用日数では、現在、希望ともに「5日」が最も高く、それぞれ69.2%、47.8%となっています。また、1日あたりの利用時間では、現在、希望ともに「9時間」が最も高く、それぞれ27.7%、19.7%となっています。

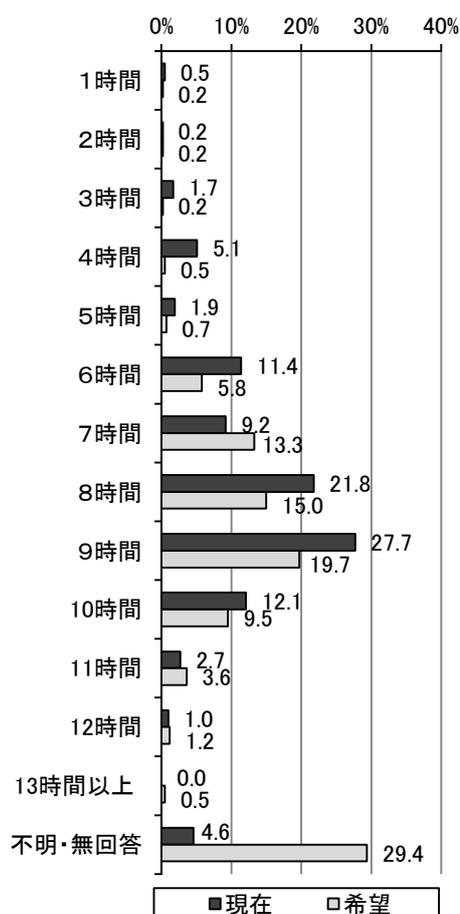
① 1週あたりの利用日数〈数量回答〉

就学前児童(N=412)



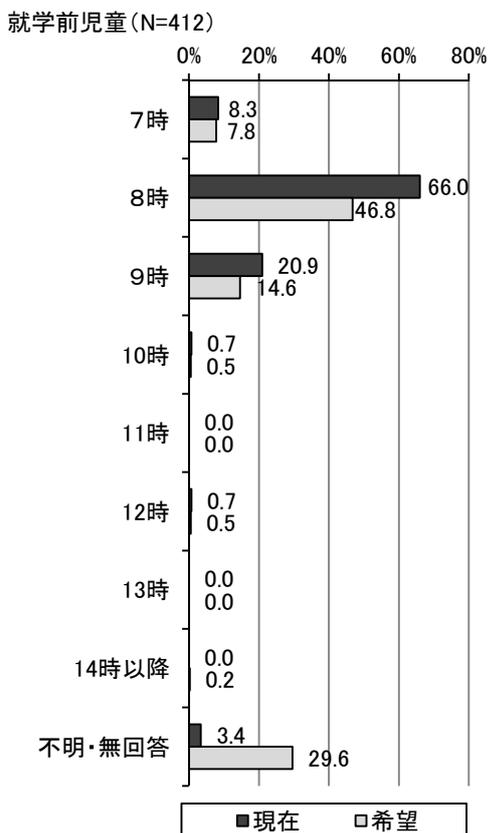
② 1日あたりの利用時間〈数量回答〉

就学前児童(N=412)

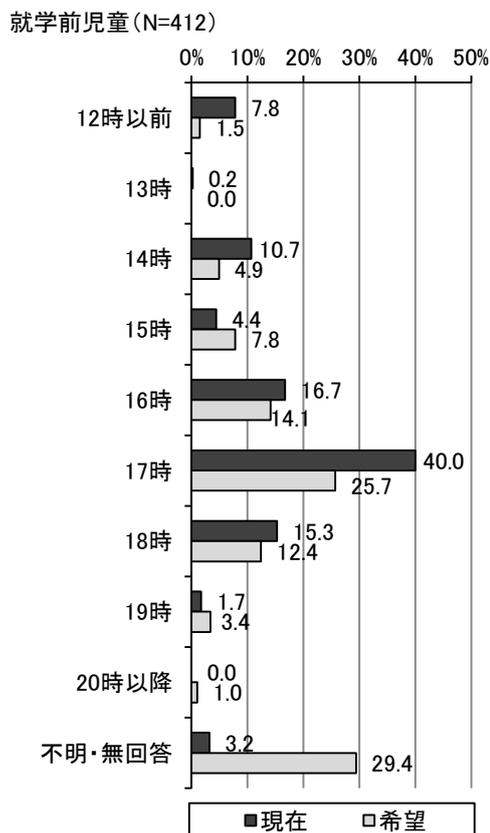


利用開始時間では、現在、希望ともに「8時」が最も高く、それぞれ66.0%、46.8%となっています。また、終了時間では、現在、希望ともに「17時」が最も高く、それぞれ40.0%、25.7%となっています。

③利用開始時間〈数量回答〉



④利用終了時間〈数量回答〉

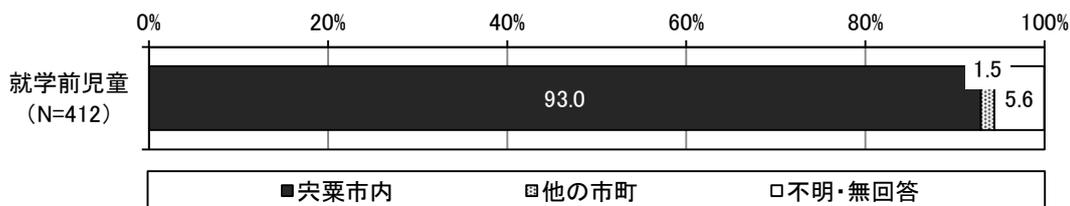


(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－3 平日、利用している教育・保育事業の実施場所〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 15－3]

平日、利用している教育・保育事業の実施場所についてみると、「宍粟市内」が93.0%と大部分を占めています。



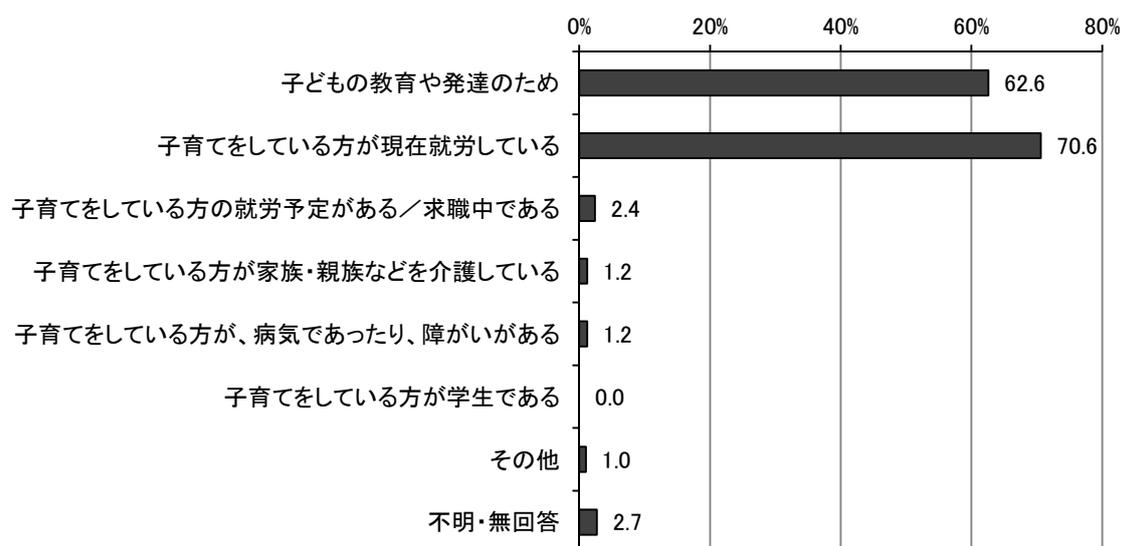
(1)で「利用している」を選んだ方

(1)－4 平日、教育・保育事業を利用している主な理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 15－4〕

平日、教育・保育事業を利用している主な理由についてみると、「子育てをしている方が現在就労している」が70.6%で最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」が62.6%となっています。

就学前児童(N=412)



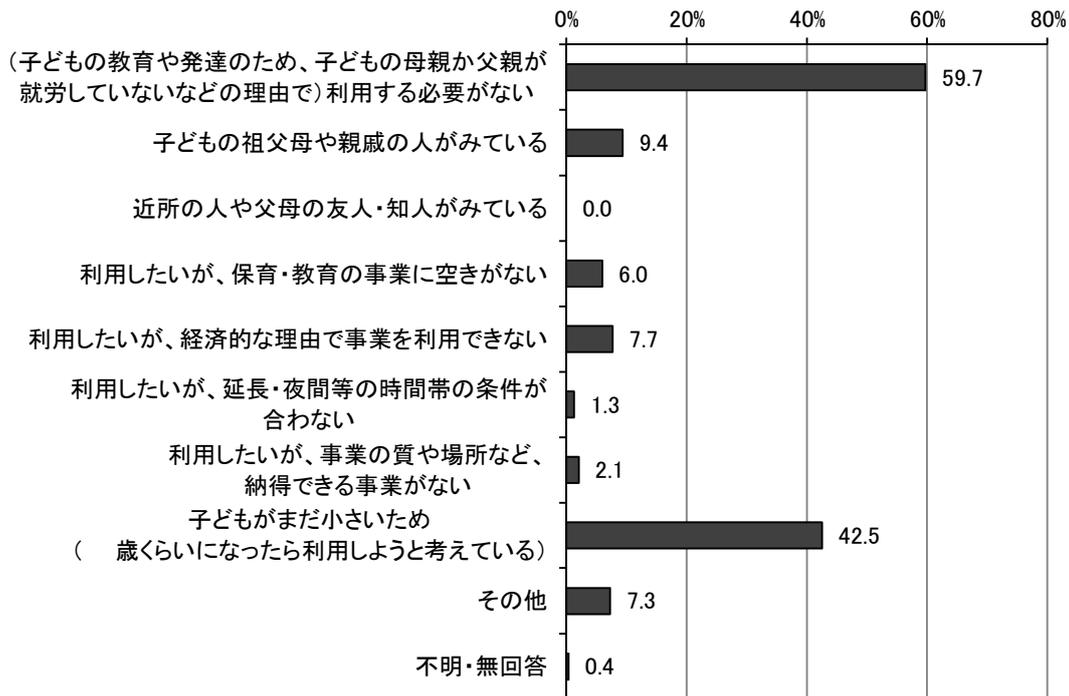
(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－5 利用していない主な理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 15－5〕

平日、教育・保育事業を利用していない主な理由についてみると、「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で)利用する必要がない」、が59.7%と最も高くなっています。

また、子どもがまだ小さいために教育・保育事業を利用していない方で、今後利用しようとする時の子どもの年齢については、「1歳」が31.3%と最も高くなっています。

就学前児童(N=233)



◎利用したい時の子どもの年齢〈数量回答〉

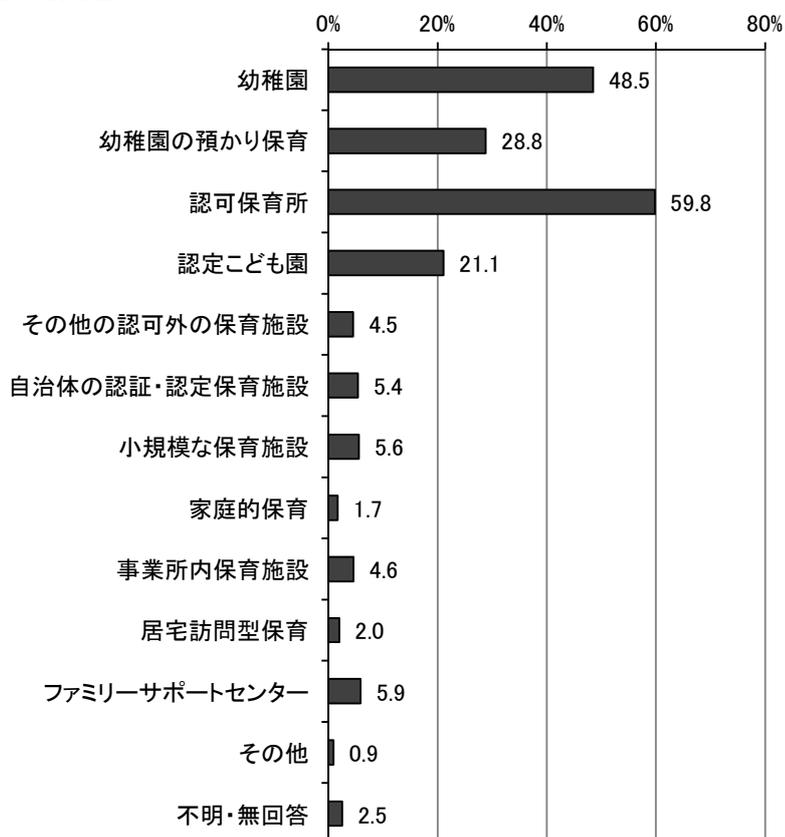
《「子どもがまだ小さいため () 歳くらいになったら利用しようと考えている」を選んだ方》

利用したい時の子どもの年齢	就学前児童 (N=99)	
	件数	%
1歳	31	31.3
2歳	14	14.1
3歳	23	23.2
4歳	17	17.2
5歳	7	7.1
不明・無回答	7	7.1

**(2) 現在の利用の有無にかかわらず、今後、平日の教育・保育事業として「定期的に」
利用したいと考える事業〈複数回答〉**〔就学前児童調査…問 16〕

今後、平日に定期的に利用したいと考える教育・保育事業についてみると、「認可保育所」が59.8%と最も高く、次いで「幼稚園」が48.5%、「幼稚園の預かり保育」が28.8%となっています。

就学前児童(N=646)



*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

年齢別 × 今後利用したい教育・保育事業

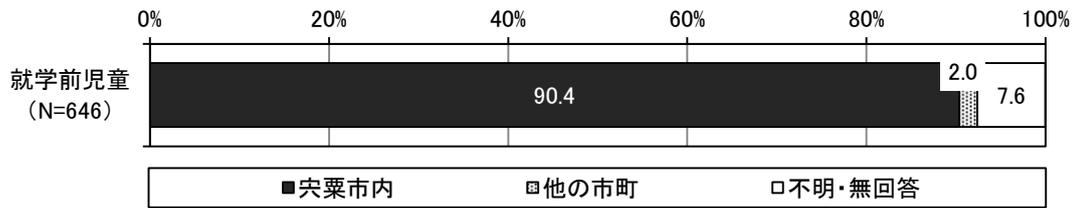
年齢別にみると、[0～5歳]で「認可保育所」、[6歳]では「幼稚園」の割合が最も高くなっています。また、[0歳～3歳]までの「認可保育所」の割合が6～7割となっています。

上段:度数 下段:%	合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育所	認定 こども園	その他の 認可外の 保育施設	自治体の 認証・認定 保育施設	小規模な 保育施設
合計	646 100.0	313 48.5	186 28.8	386 59.8	136 21.1	29 4.5	35 5.4	36 5.6
0歳	93 100.0	45 48.4	24 25.8	65 69.9	29 31.2	7 7.5	9 9.7	14 15.1
1歳	78 100.0	41 52.6	20 25.6	51 65.4	23 29.5	4 5.1	6 7.7	3 3.8
2歳	83 100.0	36 43.4	18 21.7	59 71.1	25 30.1	6 7.2	4 4.8	7 8.4
3歳	78 100.0	32 41.0	20 25.6	52 66.7	10 12.8	4 5.1	5 6.4	4 5.1
4歳	101 100.0	52 51.5	30 29.7	57 56.4	13 12.9	3 3.0	4 4.0	2 2.0
5歳	134 100.0	64 47.8	45 33.6	69 51.5	25 18.7	3 2.2	7 5.2	5 3.7
6歳	69 100.0	39 56.5	25 36.2	28 40.6	8 11.6	2 2.9	0 0.0	1 1.4

上段:度数 下段:%	合計	家庭的保育	事業所内 保育施設	居宅訪問型 保育	ファミリー サポート センター	その他	不明・ 無回答
合計	646 100.0	11 1.7	30 4.6	13 2.0	38 5.9	6 0.9	16 2.5
0歳	93 100.0	0 0.0	10 10.8	0 0.0	4 4.3	0 0.0	4 4.3
1歳	78 100.0	3 3.8	3 3.8	2 2.6	2 2.6	2 2.6	2 2.6
2歳	83 100.0	2 2.4	4 4.8	3 3.6	5 6.0	0 0.0	2 2.4
3歳	78 100.0	2 2.6	2 2.6	1 1.3	5 6.4	0 0.0	1 1.3
4歳	101 100.0	4 4.0	4 4.0	4 4.0	10 9.9	1 1.0	0 0.0
5歳	134 100.0	0 0.0	4 3.0	1 0.7	8 6.0	2 1.5	5 3.7
6歳	69 100.0	0 0.0	3 4.3	2 2.9	4 5.8	1 1.4	1 1.4

(2) - 1 教育・保育事業を利用したい場所〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 16-1〕

教育・保育事業を利用したい場所についてみると、「宍粟市内」が90.4%と大部分を占めています。



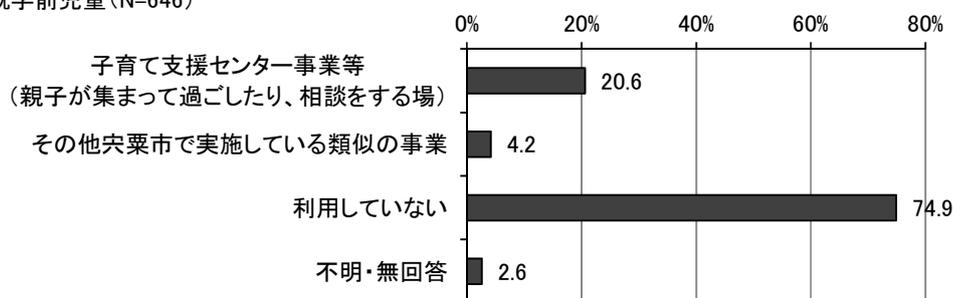
6 地域の子育て支援事業の利用状況について

(1) 現在の子育て支援センター事業等の利用状況〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 17〕

現在の子育て支援センター事業等の利用状況についてみると、「子育て支援センター事業等（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」が 20.6%、「その他宍粟市で実施している類似の事業」が 4.2%となっています。一方、「利用していない」は 74.9%となっています。

また、1週あたりの利用回数では、『子育て支援センター事業等』では「1回」、『その他宍粟市で実施している類似の事業』では「2回」の割合が最も高くなっています。1ヶ月あたりの利用回数では、『子育て支援センター事業等』、『その他宍粟市で実施している類似の事業』ともに「1回」の割合が最も高くなっています。

就学前児童(N=646)



◎ 1週あたりもしくは1か月あたりの利用回数〈数量回答〉

《「地域子育て支援拠点事業」「その他当該自治体で実施している類似の事業」を選んだ方》

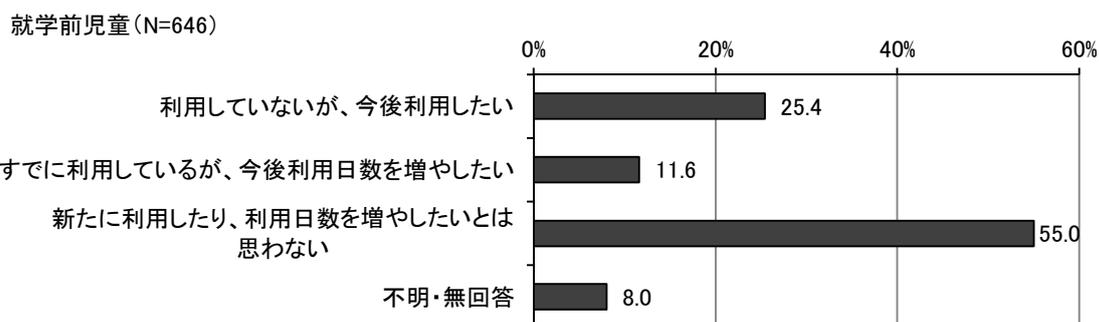
【就学前児童】 1週あたりの 利用回数	子育て支援センター 事業等(N=133)		その他宍粟市で実 施している類似の 事業(N=27)	
	件数	%	件数	%
1回	18	13.5	3	11.1
2回	13	9.8	4	14.8
3回	10	7.5	2	7.4
4回	0	0.0	1	3.7
5回	1	0.8	0	0.0
不明・無回答	91	68.4	17	63.0

【就学前児童】 1か月あたりの 利用回数	子育て支援センター 事業等(N=133)		その他宍粟市で実 施している類似の 事業(N=27)	
	件数	%	件数	%
1回	37	27.8	9	33.3
2回	36	27.1	2	7.4
3回	9	6.8	3	11.1
4回	7	5.3	1	3.7
5回以上	14	10.5	3	11.1
不明・無回答	30	22.6	9	33.3

(2) 子育て支援センター事業等の今後の利用意向〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 18〕

子育て支援センター事業等の今後の利用意向についてみると、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が55.0%と最も高くなっています。

また、1週あたりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』とともに「1回」の割合が最も高くなっています。1か月あたりの利用希望回数では、『利用していないが、今後利用したい』で「1回」、『すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい』で「2回」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



◎ 1週あたりもしくは1か月あたりの利用希望回数〈数量回答〉

《「利用していないが、今後利用したい」、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」を選んだ方》

【就学前児童】 1週あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=164)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=75)	
	件数	%	件数	%
1回	36	22.0	28	37.3
2回	14	8.5	9	12.0
3回	3	1.8	4	5.3
4回	1	0.6	1	1.3
5回	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	110	67.1	33	44.0

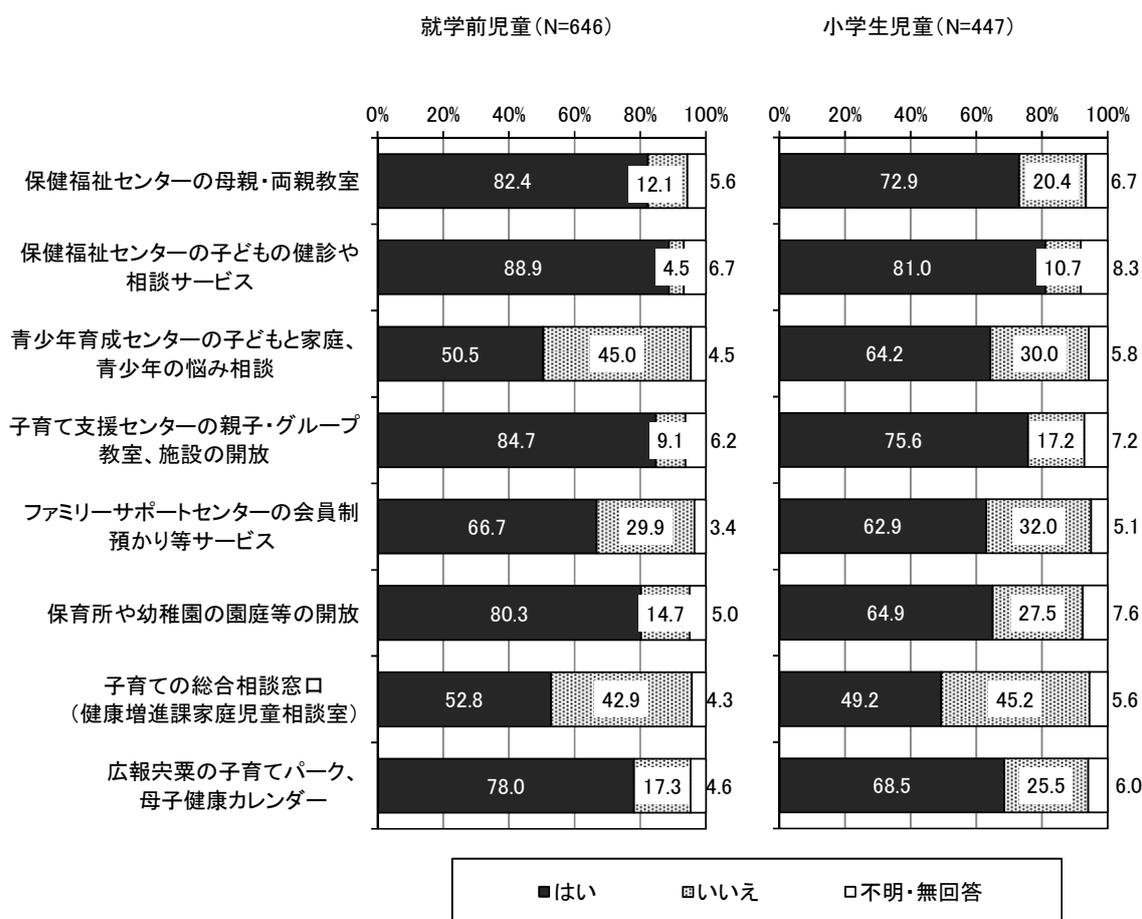
【就学前児童】 1か月あたりの 利用希望回数	利用していないが、 今後利用したい (N=164)		すでに利用している が、今後利用日数 を増やしたい (N=75)	
	件数	%	件数	%
1回	68	41.5	3	4.0
2回	35	21.3	15	20.0
3回	11	6.7	10	13.3
4回	9	5.5	11	14.7
5回以上	2	1.2	7	9.3
不明・無回答	39	23.8	29	38.7

(3) 地域の子育て支援事業の認知度・利用意向について〈単数回答〉

〔就学前児童調査・小学生児童調査…問 19〕

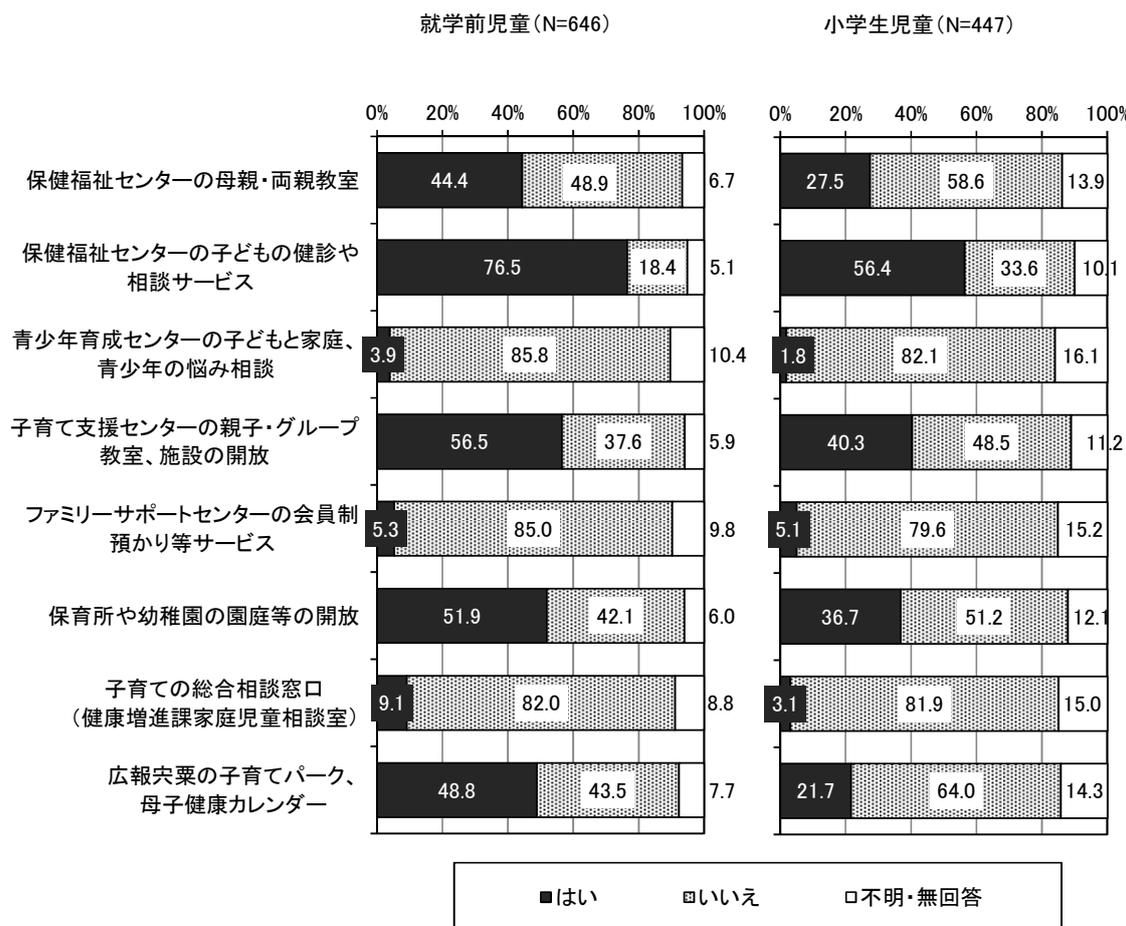
①知っている

認知度についてみると、「保健福祉センターの子どもの健診や相談サービス」では、就学前児童、小学生児童ともに『はい』が8割以上と認知度が高くなっています。一方、就学前児童では「青少年育成センターの子どもと家庭、青少年の悩み相談」「子育ての総合相談窓口（健康増進課家庭児童相談室）」、小学生児童では「子育ての総合相談窓口（健康増進課家庭児童相談室）」の『いいえ』が4割以上あり、認知度は低くなっています。



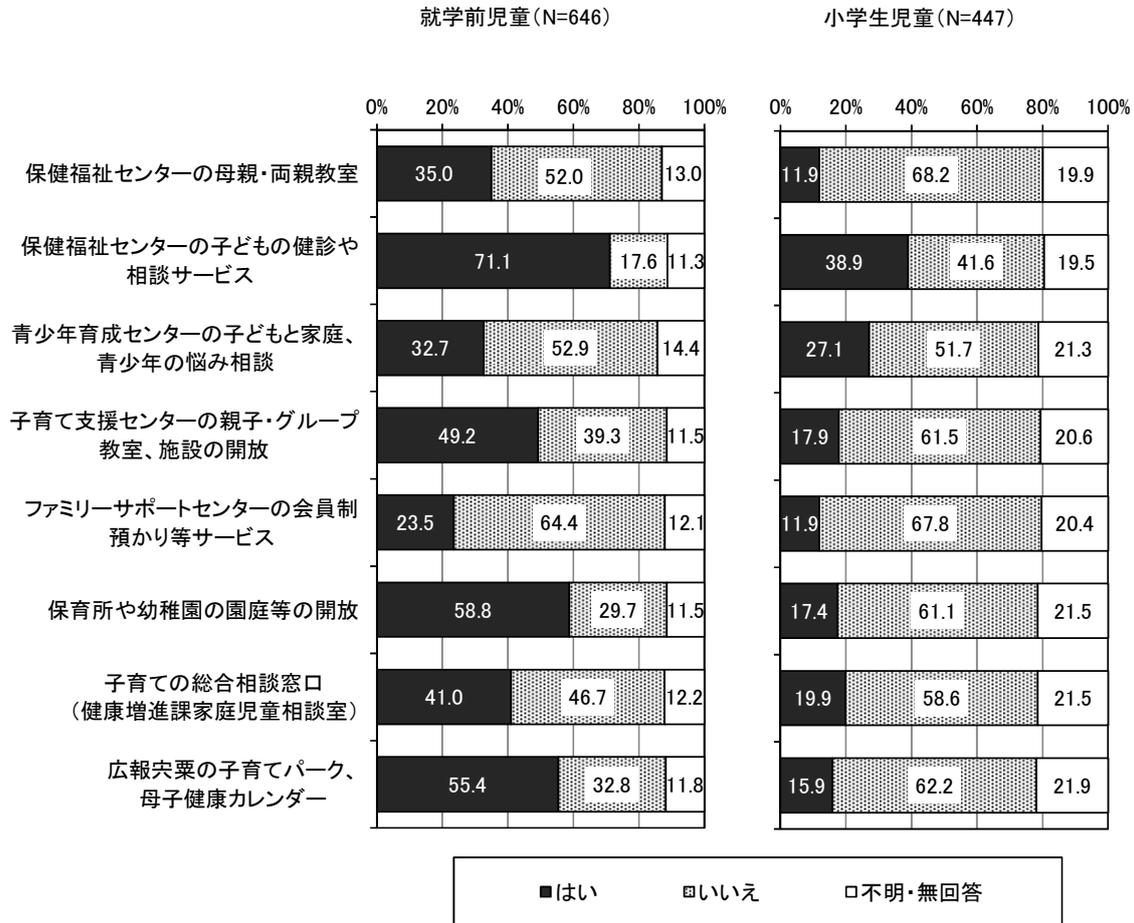
②これまでに利用したことがある

利用度についてみると、就学前児童では「保健福祉センターの子どもの健診や相談サービス」「子育て支援センターの親子・グループ教室、施設の開放」等、小学生児童では「保健福祉センターの子どもの健診や相談サービス」では、『はい』が5割以上と利用度が高くなっています。一方、就学前児童、小学生児童ともに「青少年育成センターの子どもと家庭、青少年の悩み相談」「子育ての総合相談窓口（健康増進課家庭児童相談室）」では、『いいえ』が8割以上あり、利用度は低くなっています。



③今後利用したい（利用を続けたい）

利用意向についてみると、就学前児童では「保健福祉センターの子ども健診や相談サービス」「保育所や幼稚園の園庭等の開放」では、『はい』が6割近くから7割以上と利用意向が高くなっています。一方、就学前児童、小学生児童ともに「ファミリーサポートセンターの会員制預かり等サービス」では、『いいえ』が6割以上あり、利用意向は低くなっています。



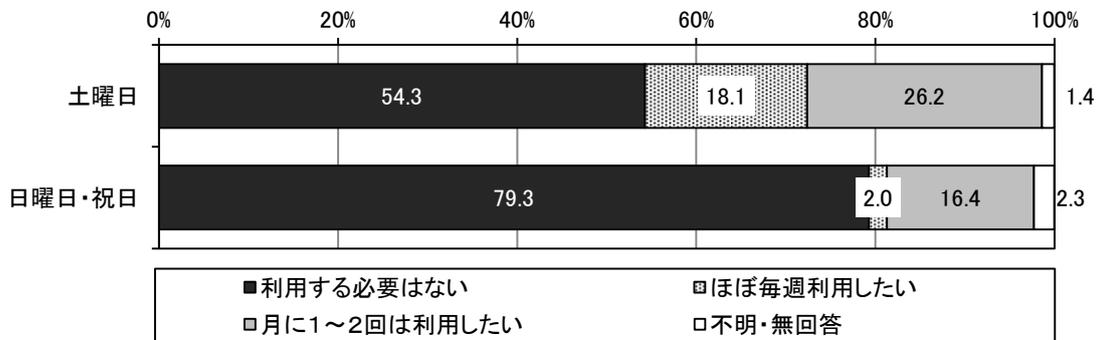
7 土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について（就学前児童）

（1）土曜日と日曜日・祝日の、定期的な教育・保育事業の利用希望（一時的な利用は除く）〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 20〕

土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」がそれぞれ 54.3%、79.3%と最も高く、特に日曜日・祝日では8割近くになっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では土曜日、日曜日・祝日ともに「8時」の割合が最も高くなっています。終了時間では、土曜日、日曜日・祝日ともに「17時」の割合が最も高くなっています。

就学前児童(N=646)



*事業の利用には一定の利用者負担が発生する

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」を選んだ方》

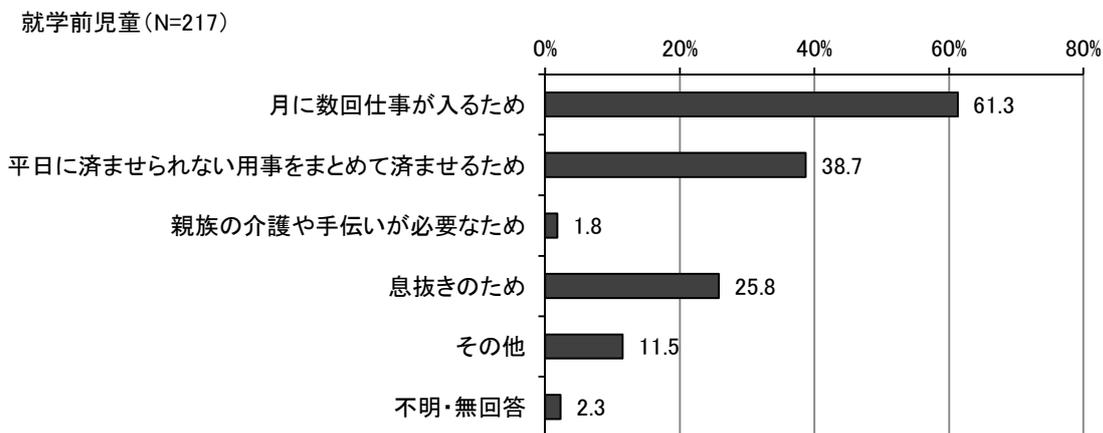
【就学前児童】 開始時間	土曜日 (N=286)		日曜日・祝日 (N=119)	
	件数	%	件数	%
6時以前	0	0.0	0	0.0
7時	26	9.1	14	11.8
8時	158	55.2	63	52.9
9時	92	32.2	34	28.6
10時	4	1.4	4	3.4
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	6	2.1	4	3.4

【就学前児童】 終了時間	土曜日 (N=286)		日曜日・祝日 (N=119)	
	件数	%	件数	%
12時以前	23	8.0	6	5.0
13時	10	3.5	0	0.0
14時	6	2.1	2	1.7
15時	14	4.9	5	4.2
16時	35	12.2	14	11.8
17時	114	39.9	44	37.0
18時	70	24.5	38	31.9
19時	7	2.4	5	4.2
20時以降	1	0.3	1	0.8
不明・無回答	6	2.1	4	3.4

(1) で「月に1～2回は利用したい」を選んだ方

(1) - 1 毎週ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 20-1〕

毎週ではなく、たまに利用したい方の理由についてみると、「月に数回仕事が入るため」が61.3%と最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が38.7%となっています。



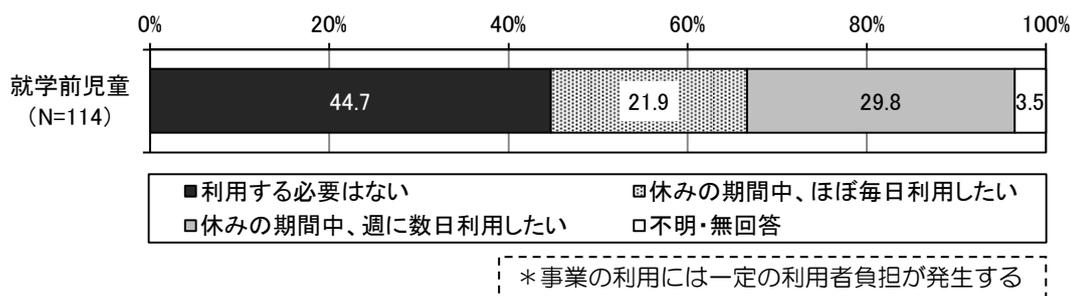
「幼稚園」を利用されている方

(2) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 21〕

幼稚園を利用されている方の、夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が44.7%と最も高く、次いで「休みの期間中、週に数日利用したい」が29.8%となっています。

また、希望する利用時間帯については、開始時間では「8時」、終了時間では「17時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」「休みの期間中、週に数日利用したい」を選んだ方》

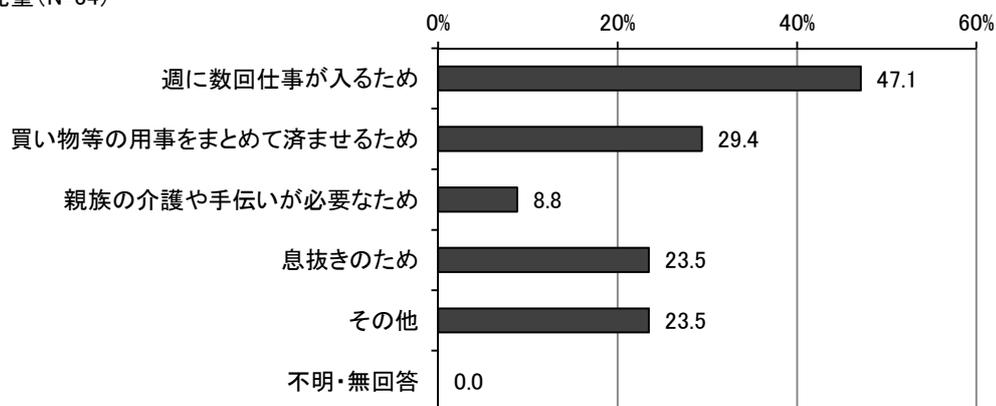
開始時間	就学前児童 (N=59)		終了時間	就学前児童 (N=59)	
	件数	%		件数	%
6時以前	0	0.0	12時以前	4	6.8
7時	5	8.5	13時	0	0.0
8時	39	66.1	14時	4	6.8
9時	13	22.0	15時	11	18.6
10時	2	3.4	16時	10	16.9
11時	0	0.0	17時	16	27.1
12時	0	0.0	18時	11	18.6
13時	0	0.0	19時	3	5.1
14時以降	0	0.0	20時以降	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	不明・無回答	0	0.0

(2)で「休みの期間中、週に数日利用したい」を選ばれた方

(2)－1 毎日ではなく、たまに利用したい理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 21－1〕

毎日ではなく、たまに利用したい理由についてみると、「週に数回仕事が入るため」が47.1%と最も高く、次いで「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が29.4%となっています。

就学前児童(N=34)



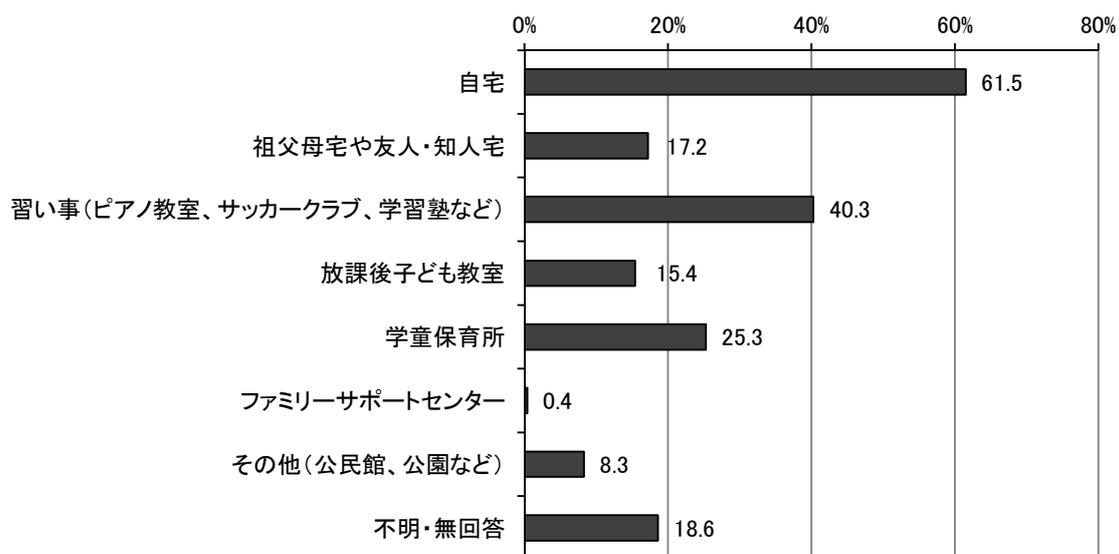
8 放課後の過ごし方について（小学生児童）

（1）小学校低学年での、放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方〈複数回答〉

〔小学生児童調査…問 15〕

小学校低学年での、放課後（平日の小学校終了後）の過ごし方についてみると、「自宅」が61.5%と最も高く、次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が40.3%となっています。

小学生児童(N=447)



週あたりの利用日数については、『自宅』、『学童保育所』で「5日」の割合が最も高くなっています。また、『学童保育所』を選んだ方の利用時間では、「18時」が43.4%と最も高くなっています。

①週あたりの利用日数〈数量回答〉

【小学生児童】 小学校低学年 週あたりの 利用日数	自宅		知人・祖父母宅や友人宅		習い事・塾・教室 （習字、パソコン、習字など）		放課後子ども教室		学童保育所		ファミリーサポート		その他（公民館、公園など）	
	N=275		N=77		N=180		N=69		N=113		N=2		N=37	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	22	8.0	27	35.1	65	36.1	36	52.2	6	5.3	0	0.0	10	27.0
2日	44	16.0	23	29.9	68	37.8	12	17.4	9	8.0	1	50.0	12	32.4
3日	56	20.4	10	13.0	32	17.8	4	5.8	21	18.6	1	50.0	6	16.2
4日	32	11.6	2	2.6	7	3.9	2	2.9	13	11.5	0	0.0	4	10.8
5日	78	28.4	4	5.2	2	1.1	7	10.1	51	45.1	0	0.0	3	8.1
6日	7	2.5	2	2.6	0	0.0	3	4.3	9	8.0	0	0.0	0	0.0
7日	12	4.4	1	1.3	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	24	8.7	8	10.4	5	2.8	5	7.2	4	3.5	0	0.0	2	5.4

②「学童保育所」の利用時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

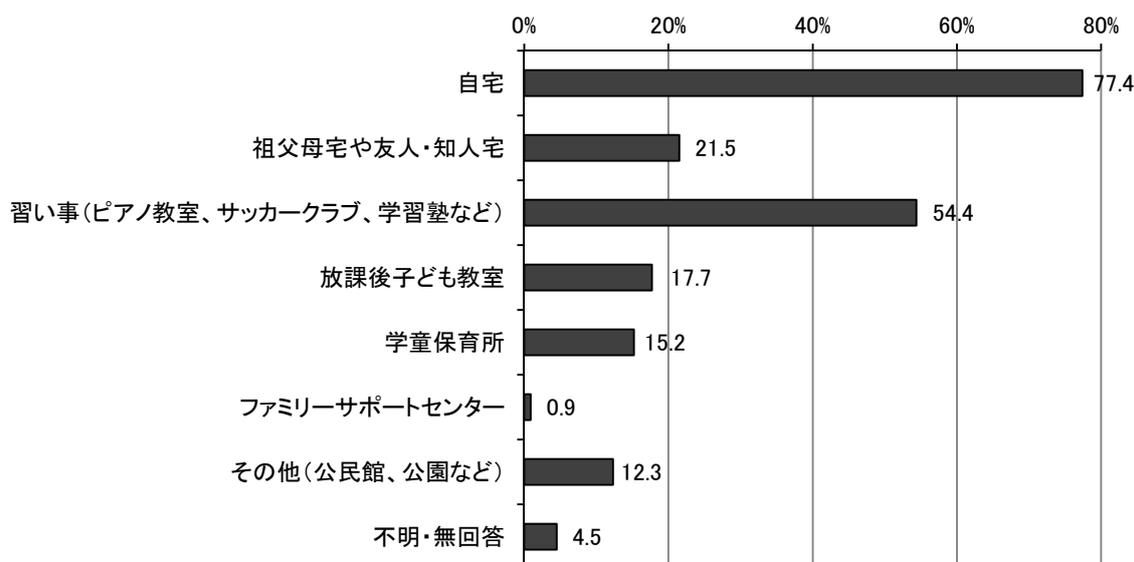
《「学童保育所」を選んだ方》

【小学生児童】 小学校低学年 利用時間	学童保育所 (N=113)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	1	0.9
17時	37	32.7
18時	49	43.4
19時	15	13.3
20時	0	0.0
不明・無回答	11	9.7

(2) 小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を過ごさせたい場所〈複数回答〉 [小学生児童調査…問16]

小学校高学年になったら、放課後(平日の小学校終了後)に過ごさせたい場所についてみると、「自宅」が77.4%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が54.4%となっています。

小学生児童(N=447)



週あたりの利用希望日数については、『自宅』、『学童保育所』『ファミリーサポートセンター』で「5日」の割合が、それぞれ最も高くなっています。『祖父母宅や友人・知人宅』、『放課後子ども教室』、『その他（公民館、公園など）』では、それぞれ「1日」の割合が最も高くなっています。また、『学童保育所』を選んだ方の利用希望時間では、「18時」が44.1%と最も高くなっています。

①週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

【小学生児童】 小学校高学年 週あたりの 利用日数	自宅		祖父母宅 や友人・ 知人宅		習い事 （ピアノ 習字など）		放課後 子ども 教室		学童 保育所		ファミ リサ ポ ー ト セ ン タ ー		その他（公 民館、 公園など）	
	N=346		N=96		N=243		N=79		N=68		N=4		N=55	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	26	7.5	34	35.4	67	27.6	36	45.6	5	7.4	1	25.0	19	34.5
2日	59	17.1	29	30.2	106	43.6	18	22.8	7	10.3	1	25.0	16	29.1
3日	81	23.4	15	15.6	43	17.7	8	10.1	15	22.1	0	0.0	6	10.9
4日	32	9.2	2	2.1	17	7.0	1	1.3	8	11.8	0	0.0	7	12.7
5日	97	28.0	6	6.3	4	1.6	9	11.4	28	41.2	2	50.0	4	7.3
6日	6	1.7	2	2.1	0	0.0	2	2.5	4	5.9	0	0.0	0	0.0
7日	17	4.9	3	3.1	1	0.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.8
不明・無回答	28	8.1	5	5.2	5	2.1	5	6.3	1	1.5	0	0.0	2	3.6

②「学童保育所」の利用希望時間（下校時から何時まで）〈数量回答〉

《「学童保育所」を選んだ方》

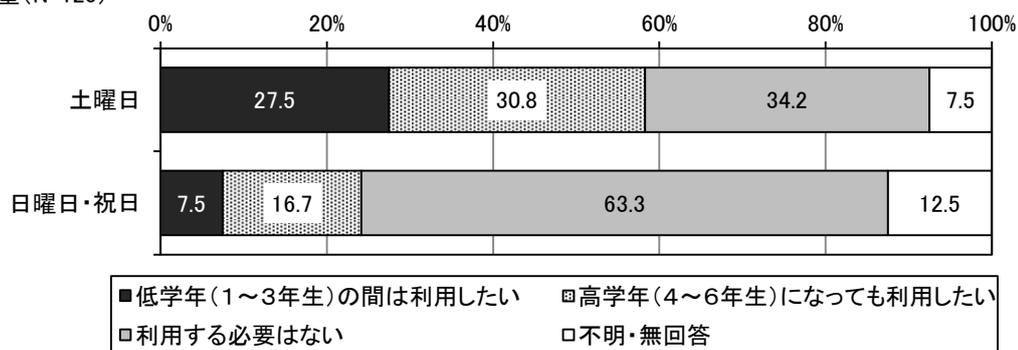
【小学生児童】 小学校高学年 利用時間	学童保育所 (N=68)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	1	1.5
17時	20	29.4
18時	30	44.1
19時	14	20.6
20時	0	0.0
不明・無回答	3	4.4

(3) 土曜日や日曜日・祝日の学童保育所の利用希望〈単数回答〉〔小学生児童調査…問17〕

土曜日や日曜日・祝日の学童保育所の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」の割合が最も高くなっています。また、土曜日では「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が3割となっています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間では「8時」、終了時間では「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。

小学生児童(N=120)



①希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

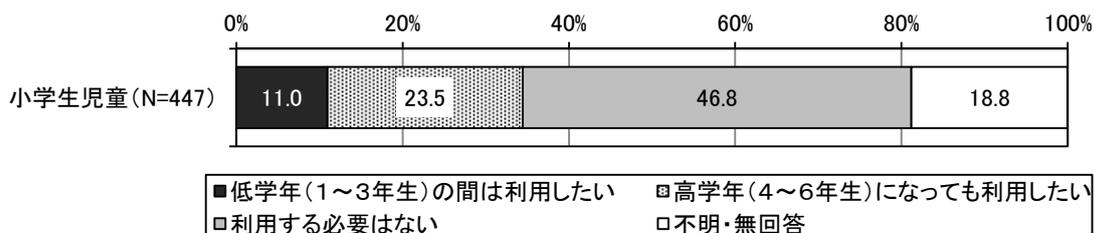
【小学生児童】 開始時間	土曜日 (N=70)		日曜日・祝日 (N=29)		【小学生児童】 終了時間	土曜日 (N=70)		日曜日・祝日 (N=29)	
	件数	%	件数	%		件数	%	件数	%
6時以前	0	0.0	0	0.0	12時以前	4	5.7	0	0.0
7時	6	8.6	4	13.8	13時	2	2.9	0	0.0
8時	45	64.3	19	65.5	14時	0	0.0	0	0.0
9時	10	14.3	5	17.2	15時	4	5.7	2	6.9
10時	0	0.0	0	0.0	16時	2	2.9	2	6.9
11時	0	0.0	0	0.0	17時	18	25.7	8	27.6
12時	0	0.0	0	0.0	18時	32	45.7	15	51.7
13時	1	1.4	0	0.0	19時	4	5.7	1	3.4
14時以降	1	1.4	0	0.0	20時以降	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	7	10.0	1	3.4	不明・無回答	4	5.7	1	3.4

(4) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

[小学生児童調査…問 18]

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、「利用する必要はない」の割合が最も高くなっています。また、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」の割合が2割以上となっています。

希望する利用時間帯については、開始時間では「8時」、終了時間では「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



①希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

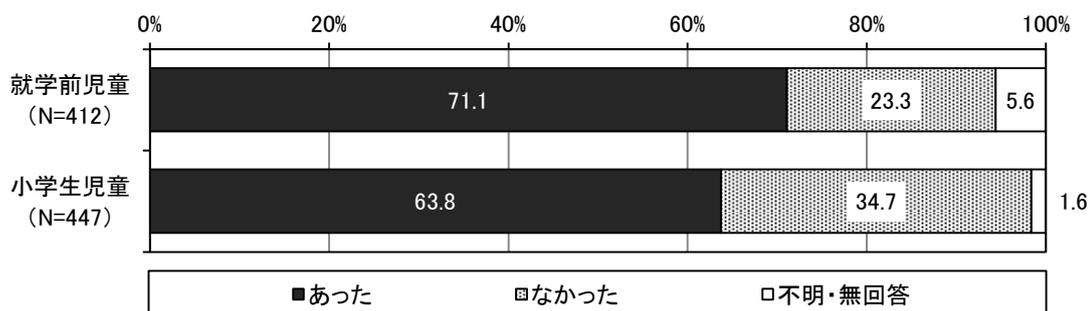
【小学生児童】 開始時間	夏休み・冬休み などの長期休暇 中 (N=154)		【小学生児童】 終了時間	夏休み・冬休み などの長期休暇 中 (N=154)	
	件数	%		件数	%
6時以前	0	0.0	12時以前	4	2.6
7時	19	12.3	13時	2	1.3
8時	96	62.3	14時	2	1.3
9時	35	22.7	15時	8	5.2
10時	1	0.6	16時	8	5.2
11時	0	0.0	17時	40	26.0
12時	0	0.0	18時	77	50.0
13時	1	0.6	19時	12	7.8
14時以降	1	0.6	20時以降	0	0.0
不明・無回答	1	0.6	不明・無回答	1	0.6

9 病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ）

（1）この1年間に、子どもが病気やケガで通常の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）ことの有無〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 22、小学生児童調査…問 20〕

この1年間に、子どもの病気やケガで通常の事業が利用できなかったことや、学校を休まなければならなかった経験の有無についてみると、「あった」が就学前児童で71.1%、小学生児童で63.8%となっています。

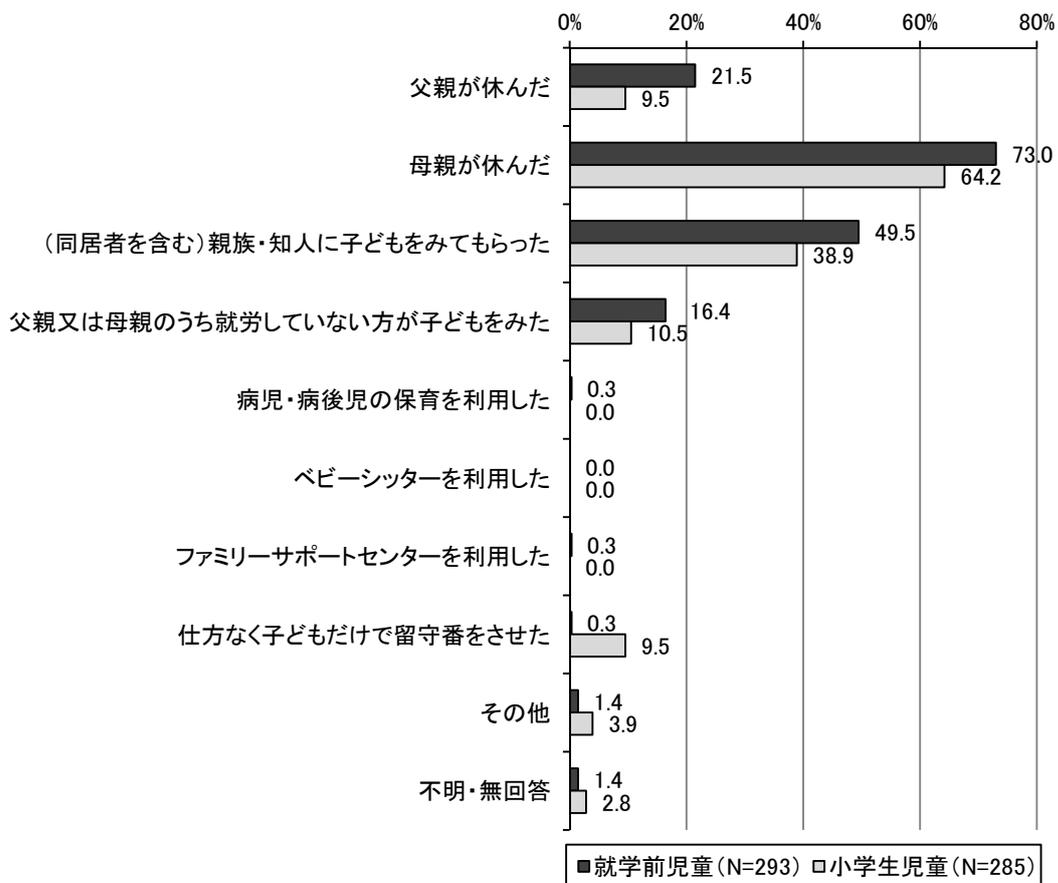


※就学前児童は、平日の定期的な教育・保育事業を利用している方

(1)で「あった」を選んだ方

(1)－1 子どもが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった（小学生は学校を休まなければならなかった）場合の、この1年間に行った対処方法〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 22－1、小学生児童調査…問 20－1〕

子どもが病気やケガで教育・保育事業が利用できなかったり、学校を休まなければならなかった場合の対処方法についてみると、「母親が休んだ」が就学前児童で 73.0%、小学生児童で 64.2%と、それぞれ最も高く、次いで、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が就学前児童で 49.5%、小学生児童で 38.9%となっています。



子どもが病気やケガの際のそれぞれの対応日数については、『母親が休んだ』が、就学前児童では「10日以上」、小学生児童では「2日」の割合が、最も高くなっています。

◎子どもが病気やケガの際の各対応日数〈数量回答〉

【就学前児童】 対応日数	父親が休んだ N=63		母親が休んだ N=214		もにむ（同 ら子居 つど親者 たも族を を・み知 み含 て人		もいの父 をなう親 みいちまた た方就た が労は 子し母 どて親		保病 育児 を・ 利用後 し児 たの		利セサフ 用ンポア したター たトリ を		さだ仕 せけ方 たでな 留く子 守番ど をも		その他 N=4	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	16	25.4	25	11.7	14	9.7	6	12.5	1	100.0	0	0.0	0	0.0	0
2日	24	38.1	25	11.7	18	12.4	8	16.7	0	0.0	1	100.0	0	0.0	0	0.0
3日	7	11.1	31	14.5	23	15.9	5	10.4	0	0.0	0	0.0	1	100.0	2	50.0
4日	2	3.2	7	3.3	5	3.4	3	6.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0
5日	7	11.1	30	14.0	17	11.7	5	10.4	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6日	0	0.0	7	3.3	5	3.4	1	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
7日	1	1.6	9	4.2	6	4.1	3	6.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8日	1	1.6	1	0.5	3	2.1	1	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	25.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	4	6.3	73	34.1	45	31.0	15	31.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	1	1.6	6	2.8	9	6.2	1	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0

※【就学前児童】で「ベビーシッターを利用した」に回答はありませんでした。

【小学生児童】 対応日数	父親が休んだ N=27		母親が休んだ N=183		もにむ（同 ら子居 つど親者 たも族を を・み知 み含 て人		もいの父 をなう親 みいちまた た方就た が労は 子し母 どて親		さだ仕 せけ方 たでな 留く子 守番ど をも		その他 N=11	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	13	48.1	39	21.3	30	27.0	3	10.0	13	48.1	3
2日	5	18.5	51	27.9	24	21.6	8	26.7	5	18.5	2	18.2
3日	3	11.1	27	14.8	20	18.0	5	16.7	4	14.8	1	9.1
4日	1	3.7	10	5.5	5	4.5	0	0.0	1	3.7	1	9.1
5日	3	11.1	18	9.8	13	11.7	7	23.3	0	0.0	1	9.1
6日	0	0.0	2	1.1	4	3.6	1	3.3	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	9	4.9	3	2.7	1	3.3	1	3.7	1	9.1
8日	0	0.0	2	1.1	1	0.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10日以上	2	7.4	16	8.7	4	3.6	1	3.3	1	3.7	0	0.0
不明・無回答	0	0.0	9	4.9	7	6.3	4	13.3	2	7.4	2	18.2

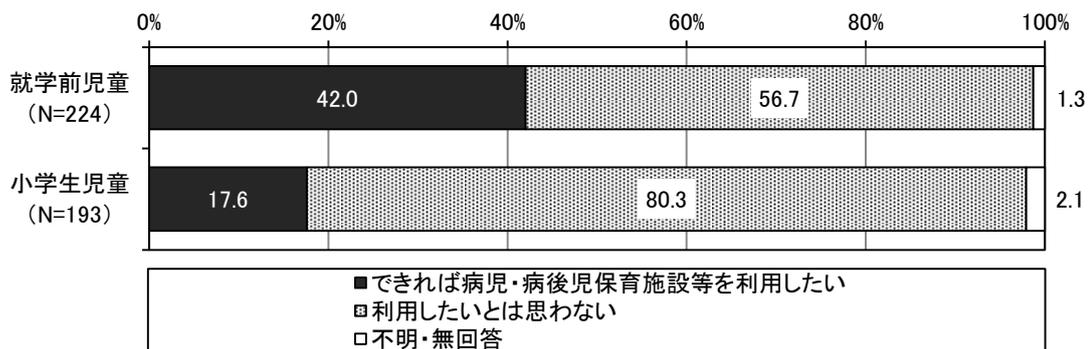
※【小学生児童】で「病児・病後児の保育を利用した」「ベビーシッターを利用した」「ファミリーサポートセンターを利用した」に回答はありませんでした。

(1) - 1で「父親が休んだ」または「母親が休んだ」を選んだ方

(1) - 2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22-2、小学生児童調査…問 20-2〕

父親または母親が休んだ方で、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったかについてみると、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童で 42.0%、小学生児童で 17.6%、「利用したいとは思わない」が就学前児童で 56.7%、小学生児童で 80.3%となっています。

また、できれば病児・病後児保育施設等を利用したい日数については、就学前児童では「5日」が 19.1%、小学生児童では「3日」が 29.4%と、それぞれ最も高くなっています。



*病児・病後児のための事業等の利用には一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要

◎病児・病後児保育施設等を利用したい方の日数〈数量回答〉

《「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方》

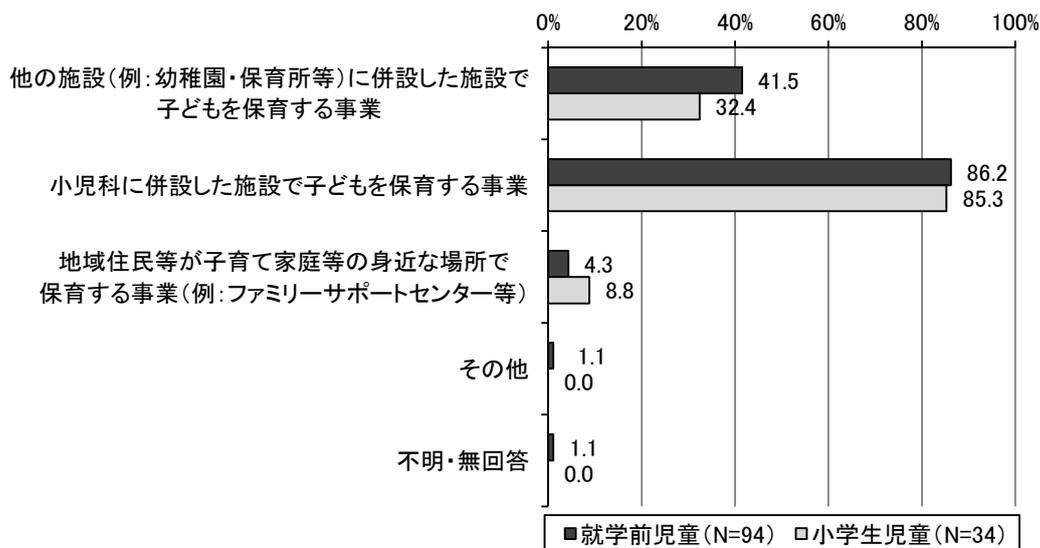
利用したい日数	就学前児童 (N=94)		小学生児童 (N=34)	
	件数	%	件数	%
1日	7	7.4	2	5.9
2日	12	12.8	4	11.8
3日	13	13.8	10	29.4
4日	2	2.1	0	0.0
5日	18	19.1	7	20.6
6日	2	2.1	0	0.0
7日	9	9.6	0	0.0
8日	1	1.1	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日以上	10	10.6	3	8.8
不明・無回答	20	21.3	8	23.5

(1) - 2で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」を選んだ方

(1) - 3 上記の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22-3、小学生児童調査…問 20-3〕

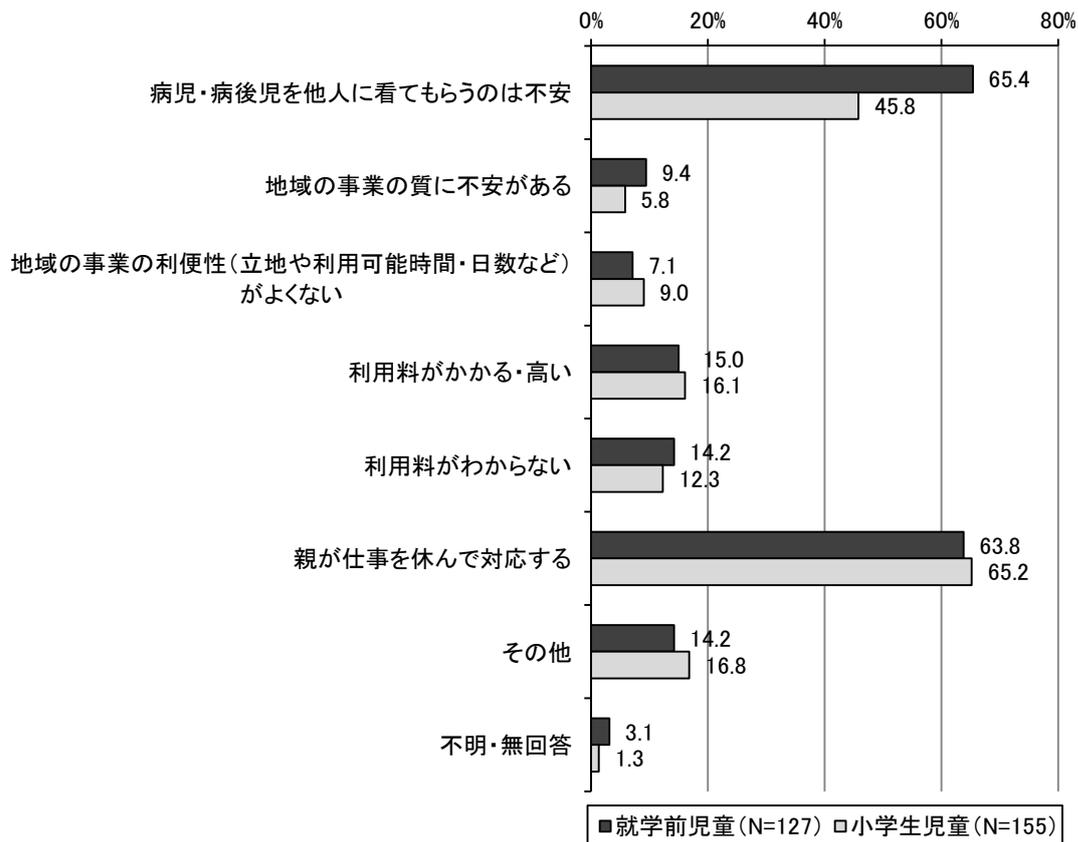
病児・病後児保育施設等を利用したい方の、子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が就学前児童で86.2%、小学生児童で85.3%と、それぞれ最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」が就学前児童で41.5%、小学生児童で32.4%と、それぞれ最も高くなっています。



(1) - 2で「利用したいとは思わない」を選んだ方

(1) - 4 そう思う理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 22-4、小学生児童調査…問 20-4〕

病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない理由についてみると、就学前児童では「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が65.4%と最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応する」が63.8%となっています。一方、小学生児童では「親が仕事を休んで対応する」が65.2%と最も高く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が45.8%となっています。

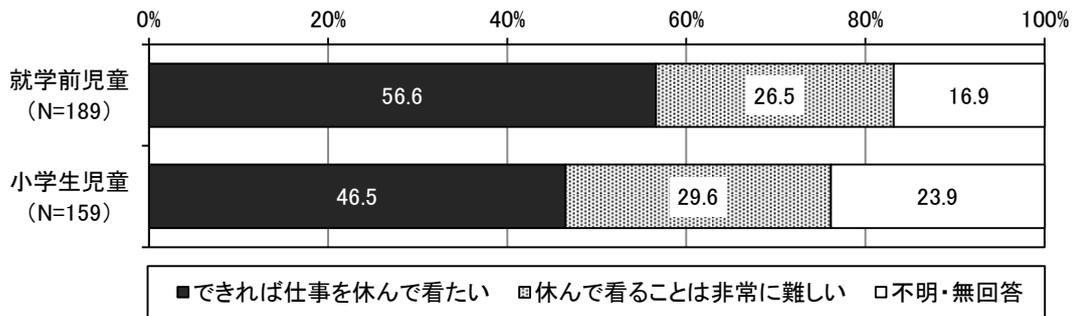


(1) - 1で「父親が休んだ」「母親が休んだ」以外を選んだ方

(1) - 5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか
 〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 22-5、小学生児童調査…問 20-5〕

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったかについてみると、「できれば仕事を休んで看たい」が就学前児童で 56.6%、小学生児童で 46.5%となっています。

また、仕事を休んで看たい日数については、就学前児童で「10日以上」、小学生児童では「1日」の割合が高くなっています。



◎仕事を休んで看たい日数〈数量回答〉

《「できれば仕事を休んで看たい」を選んだ方》

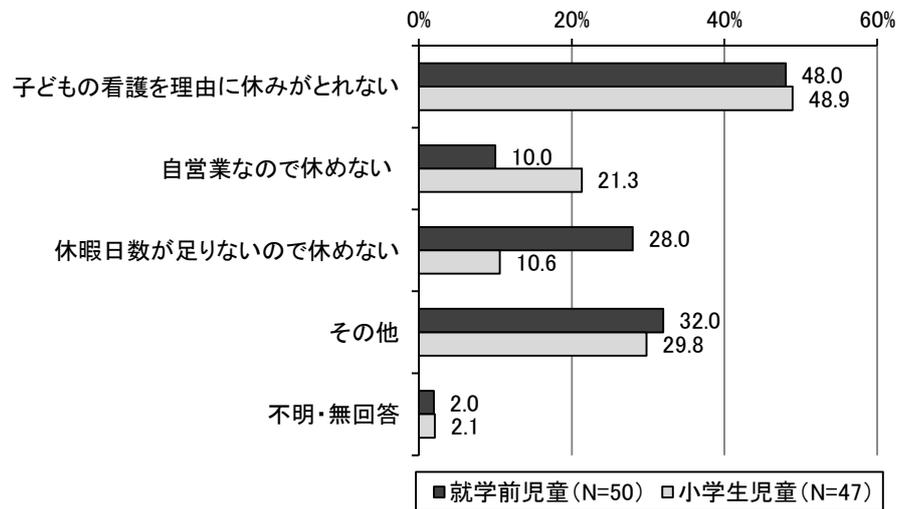
仕事を休んで看たい日数	就学前児童 (N=107)		小学生児童 (N=74)	
	件数	%	件数	%
1日	10	9.3	24	32.4
2日	17	15.9	13	17.6
3日	17	15.9	8	10.8
4日	4	3.7	0	0.0
5日	13	12.1	9	12.2
6日	2	1.9	1	1.4
7日	4	3.7	4	5.4
8日	2	1.9	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10日以上	18	16.8	2	2.7
不明・無回答	20	18.7	13	17.6

(1) - 5で「休んで看ることは非常に難しい」を選んだ方

(1) - 6 そう思う理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 22-6、小学生児童調査…問 20-6〕

仕事を休んで看ることは非常に難しい理由についてみると、「子どもの看護を理由に休みがとれない」が就学前児童で 48.0%、小学生児童で 48.9%と、それぞれ最も高くなっています。



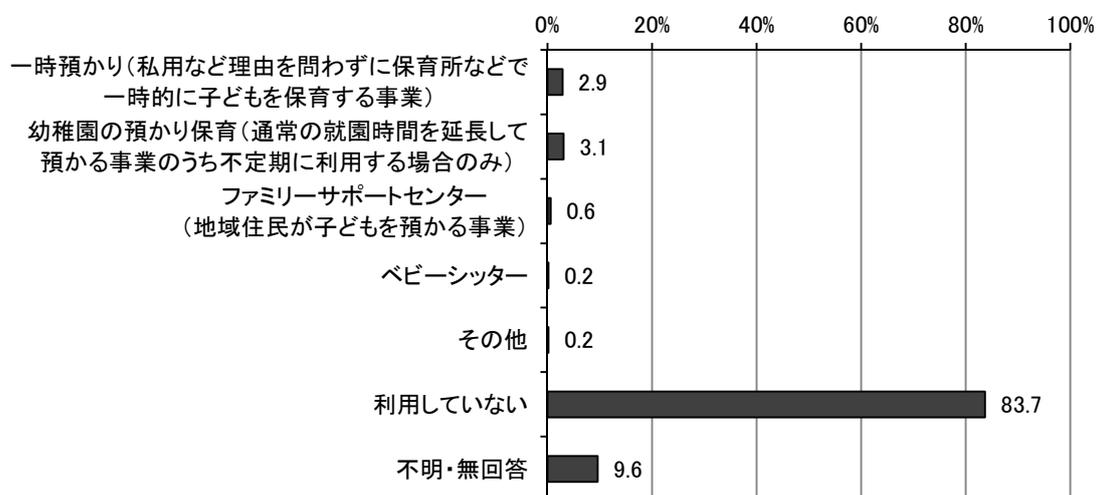
10 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

(1) 日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期的に利用する必要がある事業の有無〈複数回答〉

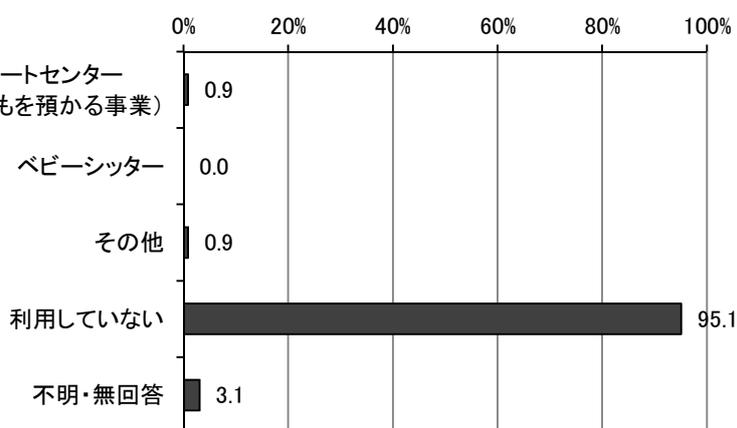
〔就学前児童調査…問 23、小学生児童調査…問 21〕

一時預かりなど、不定期的に利用する必要がある事業についてみると、「利用していない」が就学前児童で 83.7%、小学生児童で 95.1%となっています。利用している事業では、就学前児童では「一時預かり（私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）」、「幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期的に利用する場合のみ）」の割合が1割以下となっています。

就学前児童(N=646)



小学生児童(N=447)



利用している事業の1年間の利用日数については、就学前児童では『一時預かり』、『ファミリーサポートセンター』で「1日」、『幼稚園の預かり保育』で「5日」の割合が高くなっています。

◎1年間の利用日数〈数量回答〉

《「利用していない」以外を選んだ方》

【就学前児童】 1年間の 利用日数	一時預かり N=19		幼稚園の 預かり保育 N=20		ファミリー サポート センター N=4		その他 N=1	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	4	21.1	3	15.0	2	50.0	0	0.0
2日	2	10.5	0	0.0	1	25.0	0	0.0
3日	1	5.3	1	5.0	1	25.0	0	0.0
4日	3	15.8	1	5.0	0	0.0	0	0.0
5日	3	15.8	5	25.0	0	0.0	1	100.0
6日	0	0.0	2	10.0	0	0.0	0	0.0
7日	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	1	5.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	2	10.5	3	15.0	0	0.0	0	0.0
20～29日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30～39日	1	5.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
40～49日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	1	5.3	1	5.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	2	10.5	2	10.0	0	0.0	0	0.0

【小学生児童】 1年間の 利用日数	ファミリー サポート センター N=4		その他 N=4	
	件数	%	件数	%
1日	0	0.0	0	0.0
2日	1	25.0	0	0.0
3日	1	25.0	0	0.0
4日	0	0.0	0	0.0
5日	0	0.0	0	0.0
6日	1	25.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0
8日	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0
10～19日	0	0.0	1	25.0
20～29日	0	0.0	0	0.0
30～39日	0	0.0	0	0.0
40～49日	0	0.0	0	0.0
50日以上	0	0.0	1	25.0
不明・無回答	1	25.0	2	50.0

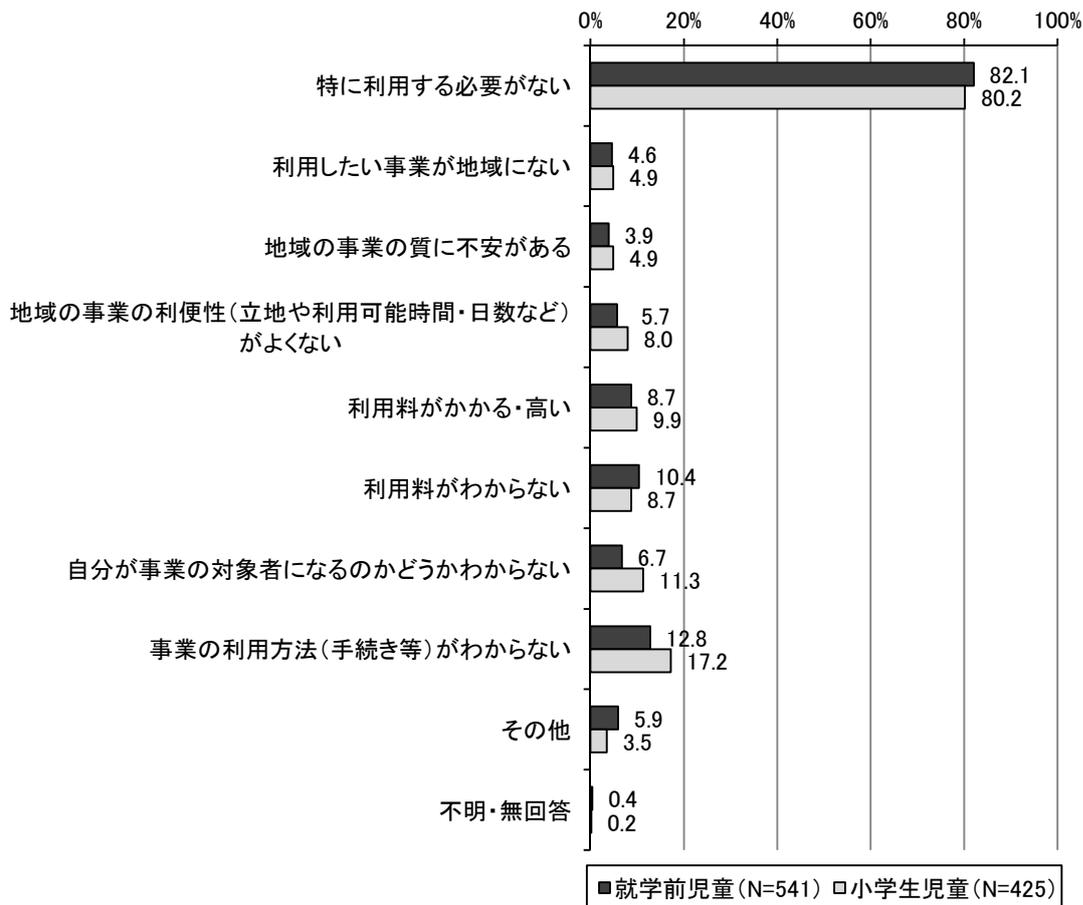
※就学前児童、小学生児童ともに「ベビーシッター」に回答はありませんでした。

(1)で「利用していない」を選んだ方

(1)－1 現在利用していない理由〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 23－1、小学生児童調査…問 21－1〕

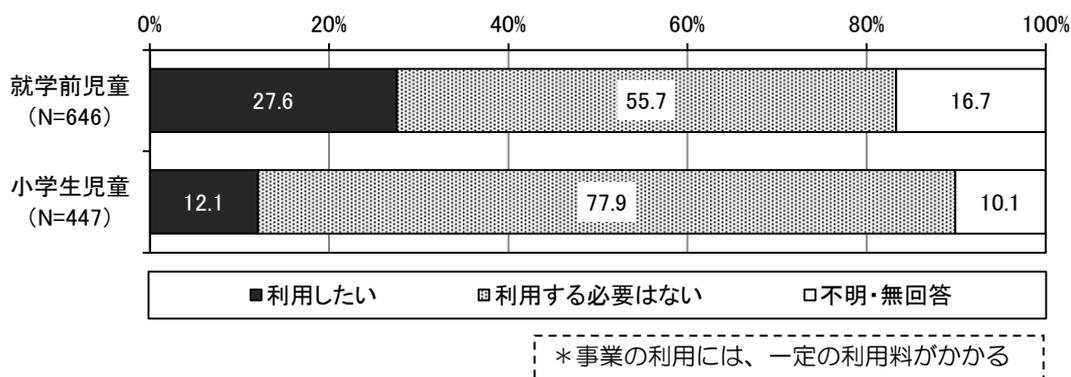
現在利用していない理由についてみると、「特に利用する必要がない」が就学前児童で82.1%、小学生児童で80.2%と、それぞれ最も高くなっています。次いで、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が就学前児童で12.8%、小学生児童で17.2%となっています。



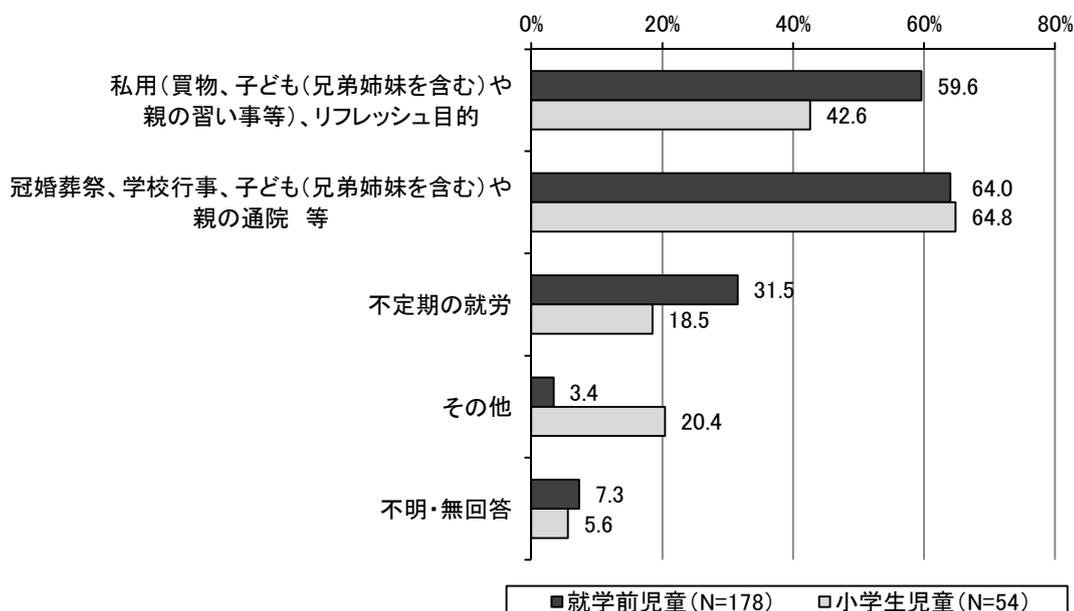
(2) 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、利用する必要がある事業の有無〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 24、小学生児童調査…問 22〕

不定期に利用する必要がある事業の有無についてみると、「利用したい」が就学前児童で 27.6%、小学生児童で 12.1%、「利用する必要はない」が就学前児童で 55.7%、小学生児童で 77.9%となっています。

また、利用したい目的の内訳については、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が就学前児童で 64.0%、小学生児童で 64.8%とそれぞれ最も高く、次いで「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が就学前児童で 59.6%、小学生児童で 42.6%となっています。



①利用したい目的の内訳〈複数回答〉《「利用したい」を選んだ方》



利用したい年間日数については、就学前児童では『その他』を除いたすべての項目で「10～19日」の割合が高く、また『不規則の就労』では、「3日」、「50日以上」も高くなっています。小学生児童では『私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的』で「5日」、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』で「5日」、「10～19日」が最も高くなっています。

②利用したい年間日数〈数量回答〉《「利用したい」を選んだ方》

【就学前児童】 利用したい 日数	年間日数 N=178		私用（買物、習い事 等）、リフレッシュ目的 N=106		冠婚葬祭、学校行事 子どもや親の通院等 N=114		不規則の就労 N=56		その他 N=6	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	5	2.8	8	7.5	5	4.4	3	5.4	1	16.7
2日	3	1.7	11	10.4	13	11.4	2	3.6	0	0.0
3日	4	2.2	11	10.4	19	16.7	9	16.1	0	0.0
4日	7	3.9	2	1.9	4	3.5	1	1.8	0	0.0
5日	14	7.9	11	10.4	23	20.2	3	5.4	1	16.7
6日	5	2.8	7	6.6	7	6.1	3	5.4	0	0.0
7日	3	1.7	4	3.8	3	2.6	0	0.0	0	0.0
8日	1	0.6	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	36	20.2	27	25.5	26	22.8	9	16.1	1	16.7
20～29日	18	10.1	13	12.3	6	5.3	7	12.5	0	0.0
30～39日	6	3.4	3	2.8	4	3.5	2	3.6	1	16.7
40～49日	4	2.2	1	0.9	0	0.0	2	3.6	0	0.0
50日以上	12	6.7	4	3.8	0	0.0	9	16.1	0	0.0
不明・無回答	60	33.7	4	3.8	4	3.5	6	10.7	2	33.3

【小学生児童】 利用したい 日数	年間日数 N=54		私用（買物、習い事 等）、リフレッシュ目的 N=23		冠婚葬祭、学校行事 子どもや親の通院等 N=35		不規則の就労 N=10		その他 N=11	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	1	1.9	2	8.7	0	0.0	1	10.0	1	9.1
2日	1	1.9	2	8.7	5	14.3	0	0.0	1	9.1
3日	3	5.6	1	4.3	6	17.1	2	20.0	2	18.2
4日	1	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5日	4	7.4	8	34.8	7	20.0	1	10.0	0	0.0
6日	1	1.9	0	0.0	1	2.9	1	10.0	0	0.0
7日	0	0.0	0	0.0	3	8.6	1	10.0	0	0.0
8日	1	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9日	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10～19日	8	14.8	7	30.4	7	20.0	3	30.0	1	9.1
20～29日	5	9.3	2	8.7	2	5.7	0	0.0	0	0.0
30～39日	3	5.6	1	4.3	2	5.7	0	0.0	0	0.0
40～49日	1	1.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
50日以上	2	3.7	0	0.0	0	0.0	1	10.0	4	36.4
不明・無回答	23	42.6	0	0.0	2	5.7	0	0.0	2	18.2

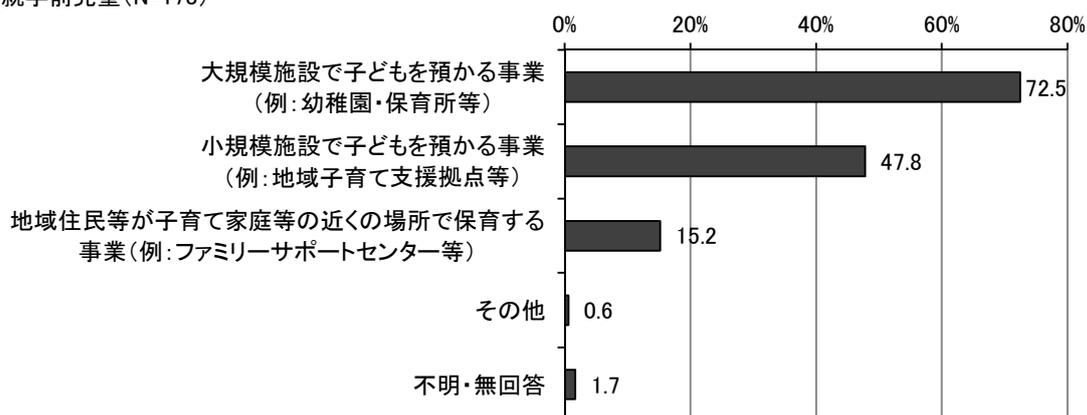
(2)で「利用したい」を選んだ方

(2) - 1 (2) ①の目的で子どもを預ける場合の望ましい事業形態〈複数回答〉

〔就学前児童調査…問 24-1〕

利用したい方の子どもを預ける場合の望ましい事業形態についてみると、「大規模施設で子どもを預かる事業（例：幼稚園・保育所等）」が72.5%と最も高く、次いで「小規模施設で子どもを預かる事業（例：地域子育て支援拠点等）」が37.0%となっています。

就学前児童(N=178)

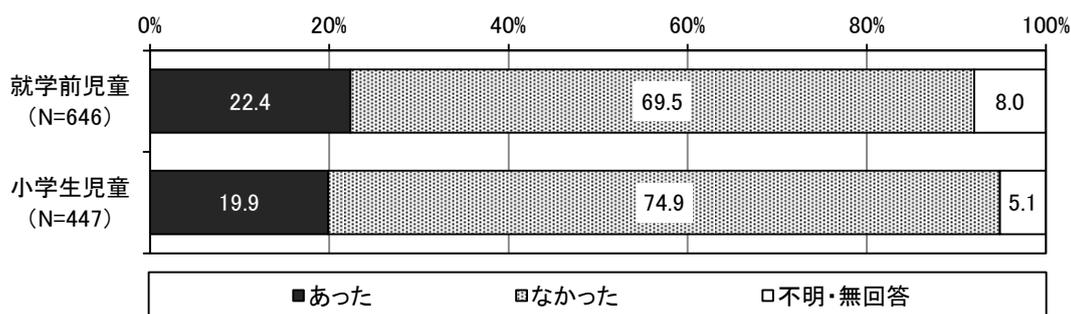


(3) この1年間に、保護者の用事などにより、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった経験の有無〈単数回答〉

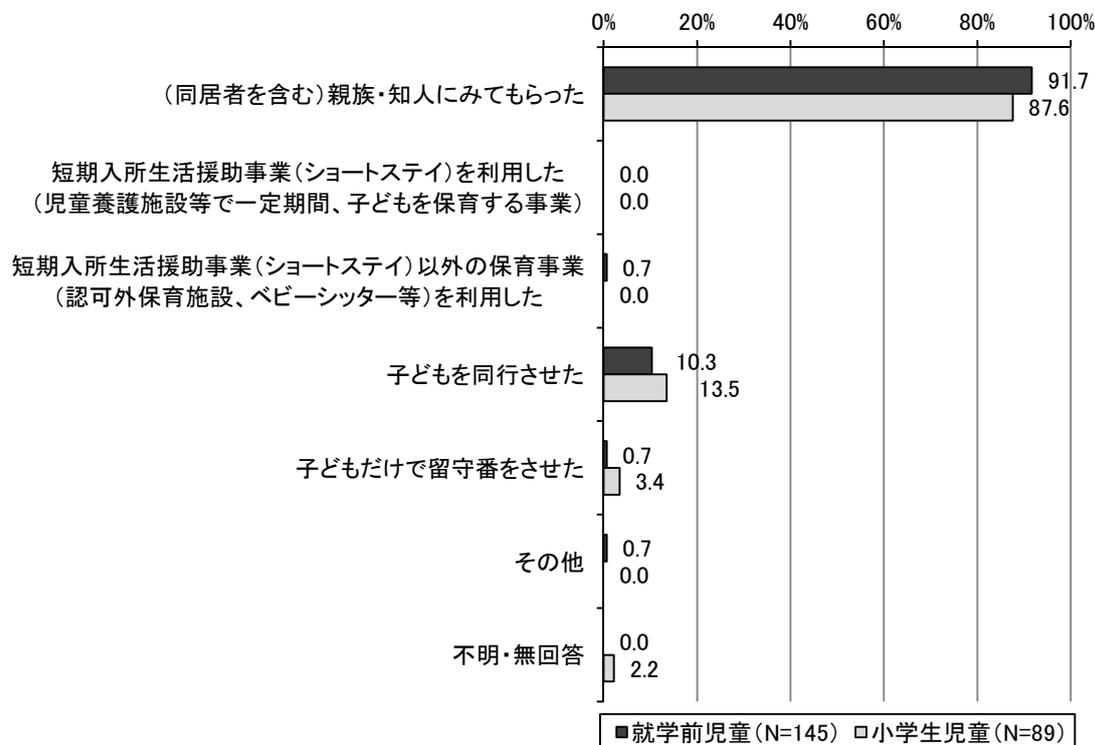
〔就学前児童調査…問 25、小学生児童調査…問 23〕

この1年間に、子どもを泊りがけで家族以外に一時的に預けた経験の有無については、「あった」が就学前児童で 22.4%、小学生児童で 19.9%、「なかった」が就学前児童で 69.5%、小学生児童で 74.9%となっています。

対処方法については、「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が就学前児童で 91.7%、小学生児童で 87.6%となっています。



① 1年間の対処方法〈複数回答〉《「あった」を選んだ方》



子どもを泊りがけで一時的に預けた際の泊数については、就学前児童、小学生児童ともに『(同居者を含む)親族・知人にみてもらった』、『子どもを同行させた』で、「1泊」の割合が高くなっています。

②それぞれの日数〈数量回答〉《「あった」を選んだ方》

【就学前児童】 対応泊数	(同居者を含む)親族・ 知人にみてもらった		短期入所生活援助事 業(ショートステイ)以 外の保育事業(認可外 保育施設、ベビーシッ ター等)を利用した		子どもを 同行させた		子どもだけで 留守番をさせた		その他	
	N=133		N=1		N=15		N=1		N=1	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	49	36.8	0	0.0	8	53.3	0	0.0	0	0.0
2泊	24	18.0	0	0.0	1	6.7	0	0.0	1	100.0
3泊	8	6.0	1	100.0	2	13.3	0	0.0	0	0.0
4泊	2	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5泊	11	8.3	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0
6泊	2	1.5	0	0.0	1	6.7	0	0.0	0	0.0
7泊	8	6.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8泊	2	1.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	1	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	18	13.5	0	0.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0
不明・無回答	8	6.0	0	0.0	2	13.3	0	0.0	0	0.0

※「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)」に回答はありませんでした。

【小学生児童】 対応泊数	(同居者を含む)親族・ 知人にみてもらった		子どもを 同行させた		子どもだけで 留守番をさせた	
	N=78		N=12		N=3	
	件数	%	件数	%	件数	%
1泊	36	46.2	6	50.0	0	0.0
2泊	11	14.1	3	25.0	2	66.7
3泊	4	5.1	2	16.7	0	0.0
4泊	1	1.3	0	0.0	0	0.0
5泊	10	12.8	0	0.0	0	0.0
6泊	1	1.3	0	0.0	0	0.0
7泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0
8泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0
9泊	0	0.0	0	0.0	0	0.0
10泊以上	5	6.4	0	0.0	1	33.3
不明・無回答	10	12.8	1	8.3	0	0.0

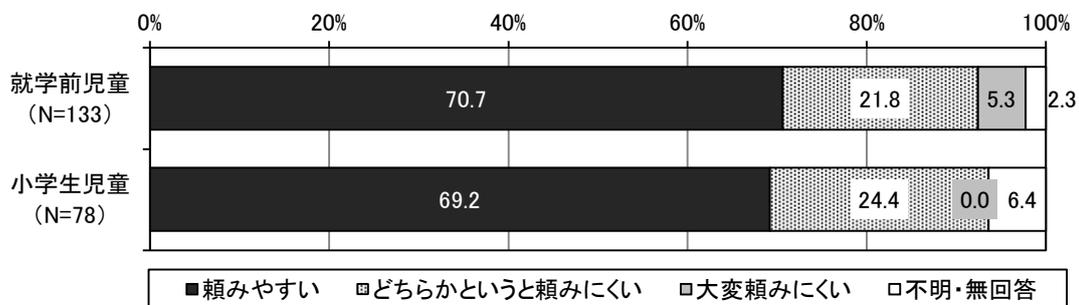
※「短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)」「短期入所生活援助事業(ショートステイ)以外の保育事業(認可外保育施設、ベビーシッター等)を利用した」「その他」に回答はありませんでした。

(3)で「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」を選んだ方

(3) - 1 その場合の頼みやすさ〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 25-1、小学生児童調査…問 23-1]

親族・知人にみてもらった場合の頼みやすさについてみると、「頼みやすい」が就学前児童で70.7%、小学生児童で69.2%と、それぞれ最も高くなっています。



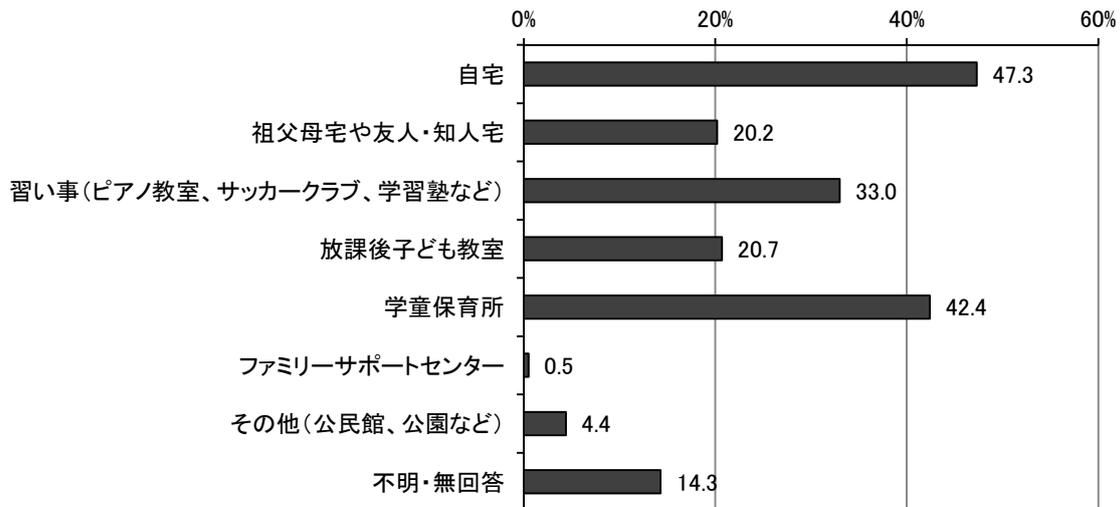
11 小学校就学後の放課後の過ごし方について（就学前児童）

（お子さんの年齢が5歳以上の方のみ）

（1）小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 26〕

小学校低学年のうちで、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が47.3%と最も高く、次いで「学童保育所」が42.4%となっています。

就学前児童(N=203)



週あたりの利用希望日数については、『自宅』、『学童保育所』で「5日」の割合が最も高くなっています。

また、学童保育所を選んだ方の利用希望時間では、「18時」が45.3%と最も高くなっています。

①週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

【就学前児童】 小学校低学年 週あたりの 利用希望日数	自宅 N=96		知人・祖 人・父 宅・母 宅 や友		なク教習 どラ室い （ブ、事 ）学ッピ 塾習カア ノ		室放 課後 子 ども 教		学 童 保 育 所 N=86		ポ ー ト ミ リ ン タ ー N=1		公 園 な ど ） 館、 其 他 （ 公 民 N=9	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
	1日	7	7.3	10	24.4	20	29.9	22	52.4	1	1.2	1	100.0	4
2日	20	20.8	14	34.1	31	46.3	7	16.7	3	3.5	0	0.0	1	11.1
3日	19	19.8	1	2.4	9	13.4	4	9.5	10	11.6	0	0.0	2	22.2
4日	6	6.3	1	2.4	1	1.5	2	4.8	6	7.0	0	0.0	0	0.0
5日	27	28.1	10	24.4	2	3.0	4	9.5	56	65.1	0	0.0	0	0.0
6日	2	2.1	1	2.4	0	0.0	0	0.0	10	11.6	0	0.0	0	0.0
7日	4	4.2	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	11	11.5	4	9.8	4	6.0	3	7.1	0	0.0	0	0.0	2	22.2

②「学童保育所」の利用希望時間 (下校時から何時まで)〈数量回答〉

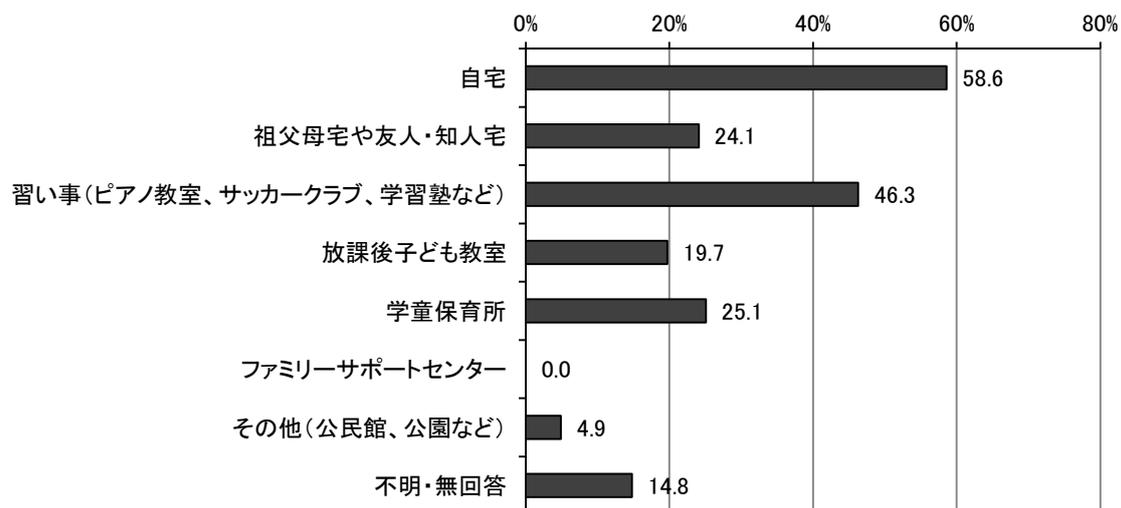
《「学童保育所」を選んだ方》

【就学前児童】 小学校低学年 利用希望時間	学童保育所 (N=86)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	3	3.5
17時	33	38.4
18時	39	45.3
19時	8	9.3
20時	2	2.3
不明・無回答	1	1.2

(2) 小学校高学年(4~6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間を主にどのような場所で過ごさせたいと思うか〈複数回答〉〔就学前児童調査…問27〕

小学校高学年になったら、放課後の時間を過ごさせたいと思う場所についてみると、「自宅」が58.6%と最も高く、次いで「習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」が46.3%となっています。

就学前児童(N=203)



週あたりの利用希望日数については、『自宅』、『学童保育所』で「5日」の割合が最も高くなっています。また、学童保育所を選んだ方の利用希望時間では、「18時」が47.1%と最も高くなっています。

①週あたりの利用希望日数〈数量回答〉

【就学前児童】 小学校高学年 週あたりの 利用希望日数	自宅		知人・祖 人・父 宅 母 宅 や 友		なク教習 どラ室い （ブ、事 ）学ッピ 塾習カー 塾アノ		室放 課後 子 ども 教		学 童 保 育 所		ポ ー ア ト ミ セ ン タ ー		公館そ 園、の な、他 （公 民	
	N=119		N=49		N=94		N=40		N=51		N=0		N=10	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
1日	9	7.6	11	22.4	26	27.7	14	35.0	2	3.9	0	0.0	3	30.0
2日	20	16.8	13	26.5	34	36.2	11	27.5	4	7.8	0	0.0	2	20.0
3日	25	21.0	10	20.4	22	23.4	5	12.5	10	19.6	0	0.0	1	10.0
4日	12	10.1	1	2.0	3	3.2	0	0.0	4	7.8	0	0.0	0	0.0
5日	31	26.1	9	18.4	2	2.1	5	12.5	21	41.2	0	0.0	0	0.0
6日	2	1.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6	11.8	0	0.0	0	0.0
7日	3	2.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
不明・無回答	17	14.3	5	10.2	7	7.4	5	12.5	4	7.8	0	0.0	4	40.0

②「学童保育所」の利用希望時間 （下校時から何時まで）〈数量回答〉 《「学童保育所」を選んだ方》

【就学前児童】 小学校高学年 利用希望時間	学童保育所 (N=51)	
	件数	%
15時以前	0	0.0
16時	0	0.0
17時	14	27.5
18時	24	47.1
19時	8	15.7
20時	1	2.0
不明・無回答	4	7.8

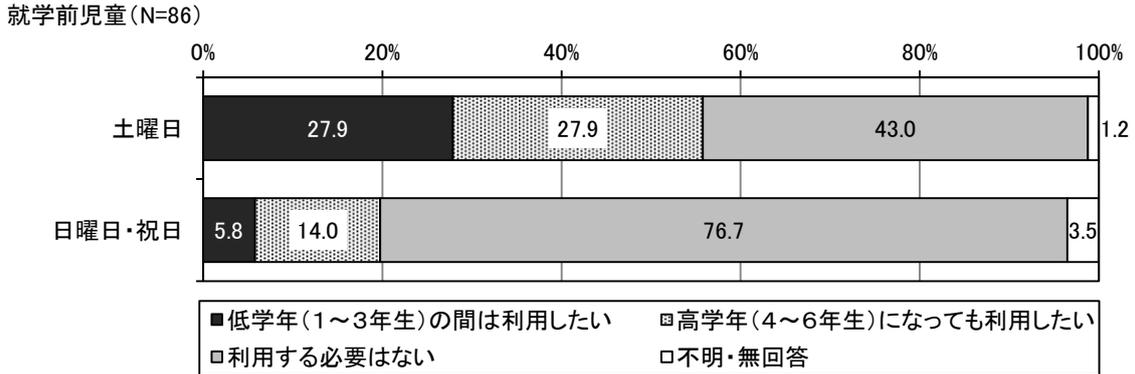
(2)、(3)で「学童保育所」を選んだ方

(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問28〕

学童保育所の、土曜日と日曜日・祝日の利用希望についてみると、土曜日、日曜日・祝日ともに「利用する必要はない」が最も高く、それぞれ43.0%、76.7%となっています。

希望する利用時間帯については、土曜日、日曜日・祝日ともに、開始時間は「8時」、終了時間は「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



*事業の利用には、一定の利用料がかかる

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年(1~3年生)の間は利用したい」、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」を選んだ方》

【就学前児童】 開始時間	土曜日 (N=48)		日曜日・祝日 (N=17)	
	件数	%	件数	%
6時	0	0.0	0	0.0
7時	8	16.7	7	41.2
8時	33	68.8	10	58.8
9時	4	8.3	0	0.0
10時	0	0.0	0	0.0
11時	0	0.0	0	0.0
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時以降	2	4.2	0	0.0
不明・無回答	1	2.1	0	0.0

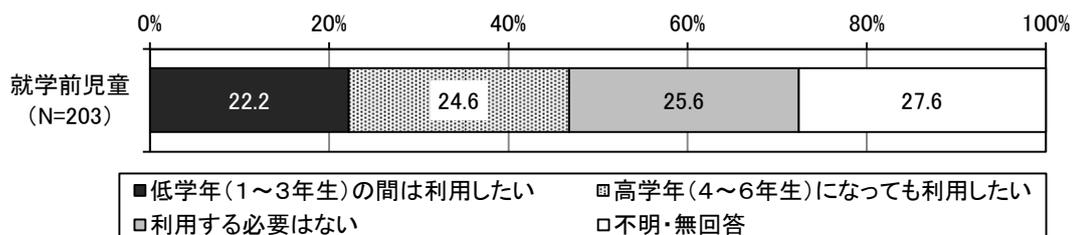
【就学前児童】 終了時間	土曜日 (N=48)		日曜日・祝日 (N=17)	
	件数	%	件数	%
12時	0	0.0	0	0.0
13時	0	0.0	0	0.0
14時	0	0.0	0	0.0
15時	1	2.1	0	0.0
16時	0	0.0	0	0.0
17時	17	35.4	4	23.5
18時	24	50.0	9	52.9
19時	4	8.3	3	17.6
20時以降	1	2.1	1	5.9
不明・無回答	1	2.1	0	0.0

(4) 夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望〈単数回答〉

[就学前児童調査…問 29]

夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育所の利用希望についてみると、「利用する必要はない」が 25.6%と最も高く、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 24.6%となっています。

希望する利用時間帯について、開始時間では「8時」、終了時間では「17時」「18時」の割合が、それぞれ最も高くなっています。



*事業の利用には、一定の利用料がかかる

◎希望する利用時間帯〈数量回答〉

《「低学年（1～3年生）の間は利用したい」「高学年（4～6年生）になっても利用したい」を選んだ方》

【就学前児童】 開始時間	夏休み・冬休み などの長期休暇 中 (N=95)	
	件数	%
6時	0	0.0
7時	14	14.7
8時	61	64.2
9時	19	20.0
10時	0	0.0
11時	0	0.0
12時	0	0.0
13時	0	0.0
14時以降	0	0.0
不明・無回答	1	1.1

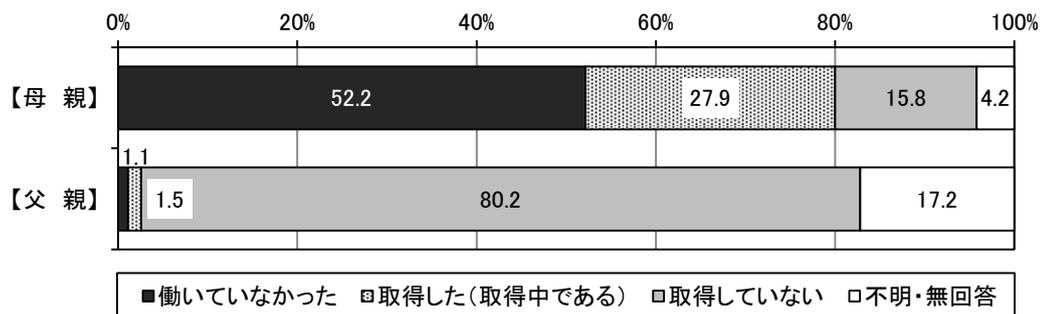
【就学前児童】 終了時間	夏休み・冬休み などの長期休暇 中 (N=95)	
	件数	%
12時	2	2.1
13時	0	0.0
14時	0	0.0
15時	4	4.2
16時	4	4.2
17時	39	41.1
18時	39	41.1
19時	4	4.2
20時以降	2	2.1
不明・無回答	1	1.1

12 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について（就学前児童）

（1）子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30〕

子どもが生まれた時の保護者の育児休業取得状況についてみると、母親では「働いていなかった」が52.2%、父親では「取得していない」が80.2%と、それぞれ最も高くなっています。また、母親の「取得した（取得中である）」が27.9%、父親では1.5%となっています。

就学前児童(N=646)



◎取得期間〈数量回答〉

《「取得した（取得中である）」を選んだ方》

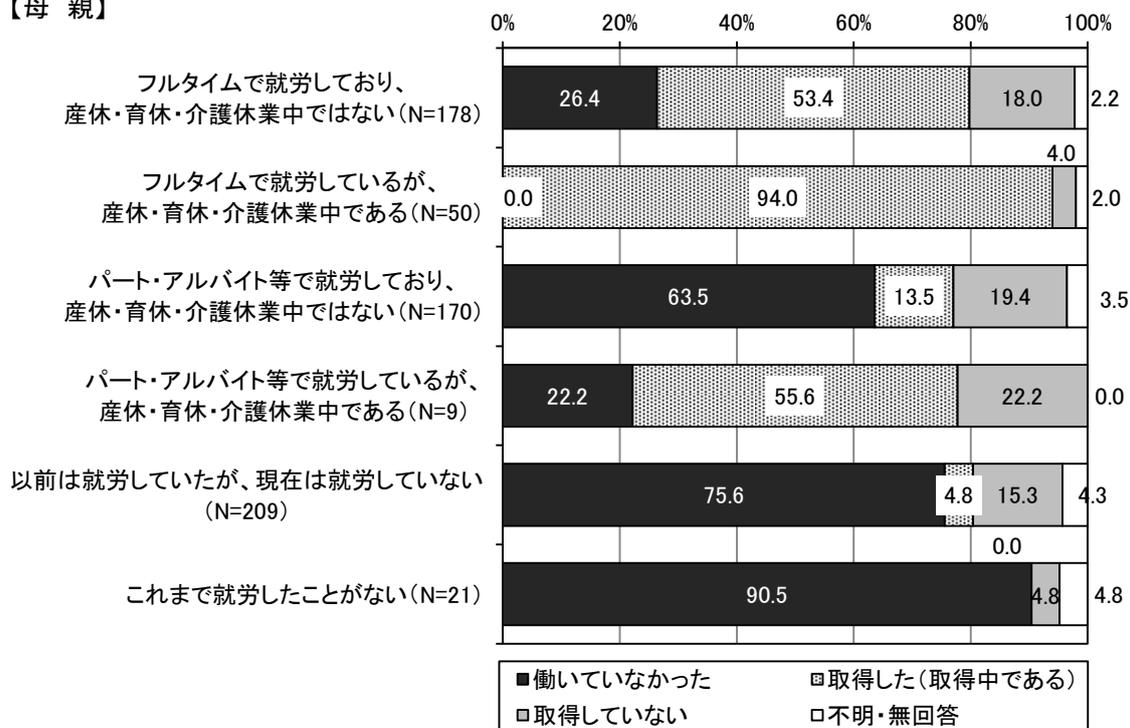
【母親】 取得期間	就学前児童 (N=180)	
	件数	%
1～10日	1	0.6
11～20日	0	0.0
21～30日	2	1.1
31～40日	0	0.0
41～50日	0	0.0
51～60日	2	1.1
61～70日	0	0.0
71～80日	1	0.6
81～90日	8	4.4
91日以上	128	71.1
不明・無回答	38	21.1

【父親】 取得期間	就学前児童 (N=10)	
	件数	%
1～10日	8	80.0
11～20日	0	0.0
21～30日	0	0.0
31～40日	0	0.0
41～50日	0	0.0
51～60日	0	0.0
61～70日	0	0.0
71～80日	0	0.0
81～90日	0	0.0
91日以上	1	10.0
不明・無回答	1	10.0

母親の就労状況別 × 育児休業取得状況

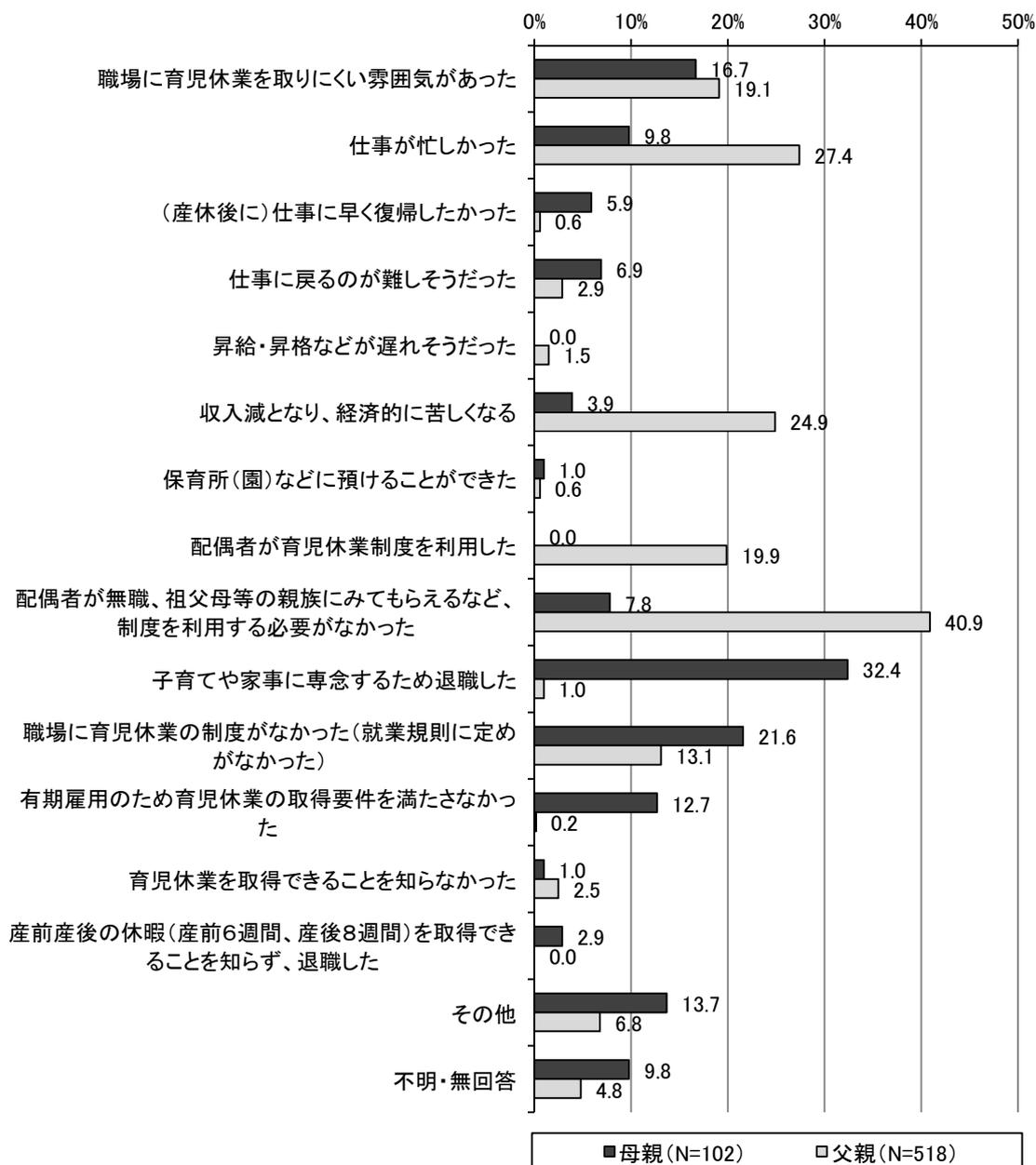
母親の就労状況をみると、[フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない]、[フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である]、[パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である]では、「取得した（取得中である）」の割合が5割を超えています。

【母親】



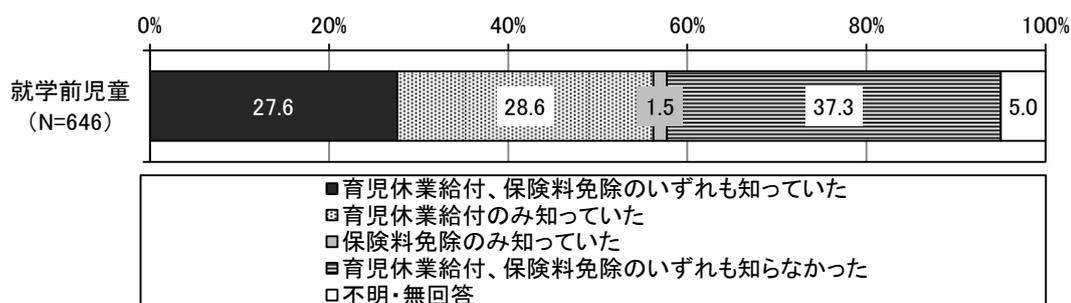
育児休業を取得していない理由については、母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が32.4%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が21.6%となっています。父親では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が40.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が27.4%となっています。

◎取得していない理由〈複数回答〉《「取得していない」を選んだ方》



(1) - 1 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みの認知度〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30-1〕

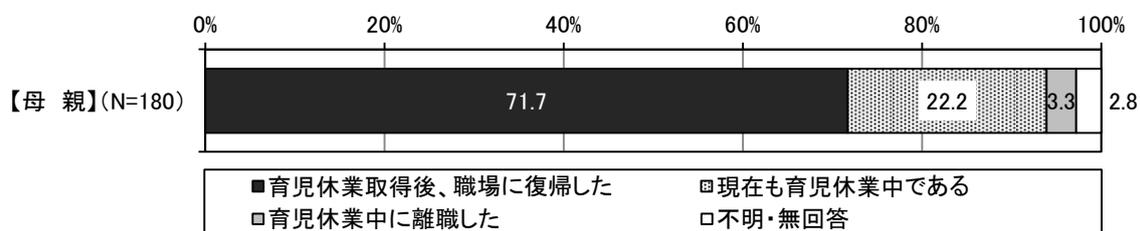
育児休業給付制度、育児休業保険料免除制度の認知度についてみると、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が37.3%と最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」が28.6%となっています。



(1) で「取得した(取得中である)」を選んだ方

(1) - 2 育児休業取得後、職場に復帰したか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30-2〕

育児休業取得後、職場に復帰したかについてみると、母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が71.7%と大部分を占めています。

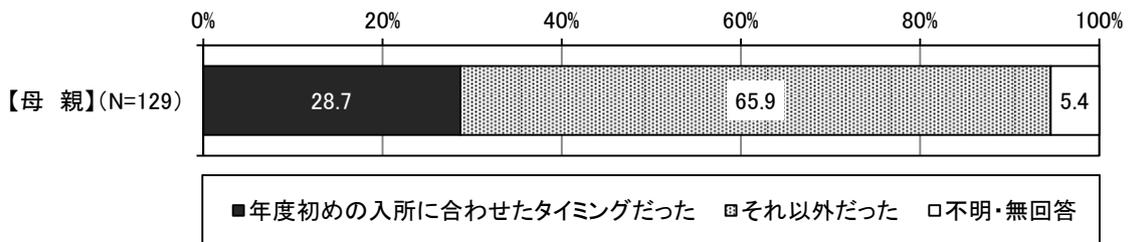


【父親】(N=10)	件数	%
育児休業取得後、職場に復帰した	9	90.0
現在も育児休業中である	0	0.0
育児休業中に離職した	0	0.0
不明・無回答	1	10.0

(1) - 2で「育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方

(1) - 3 職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングか
〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30-3〕

職場復帰の時期が、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングかについてみると、母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が28.7%、「それ以外だった」が65.9%となっています。



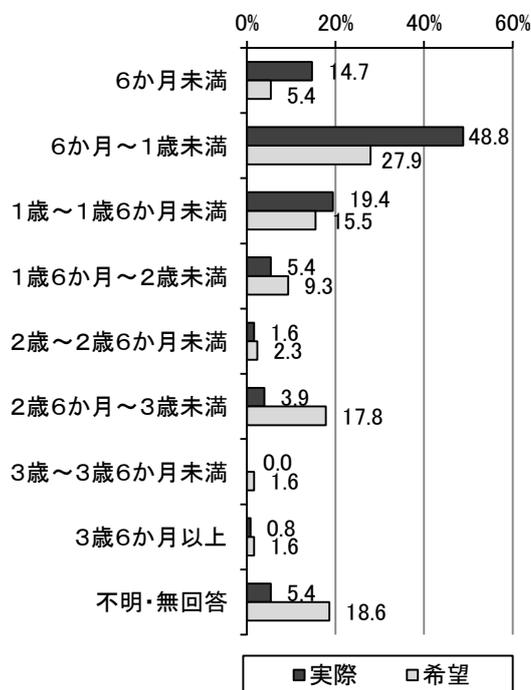
【父親】(N=9)	件数	%
年度初めの入所に合わせたタイミングだった	1	11.1
それ以外だった	4	44.4
不明・無回答	4	44.4

(1) - 4 育児休業からは、「実際」に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したか。また、勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取得したかったか〈数量回答〉〔就学前児童調査…問 30-4〕

育児休業から、実際に子どもが何歳何か月のときに職場復帰したかについてみると、母親では「6か月～1歳未満」が48.8%と最も高くなっています。また、希望としては「6か月～1歳未満」が27.9%と最も高くなっています。

※【父親】実際では「6か月未満」に3件、「1歳1か月～1歳6か月」に1件
希望では「6か月未満」に2件、「1歳1か月～1歳6か月」に1件の回答がありました。

【母親】(N=129)



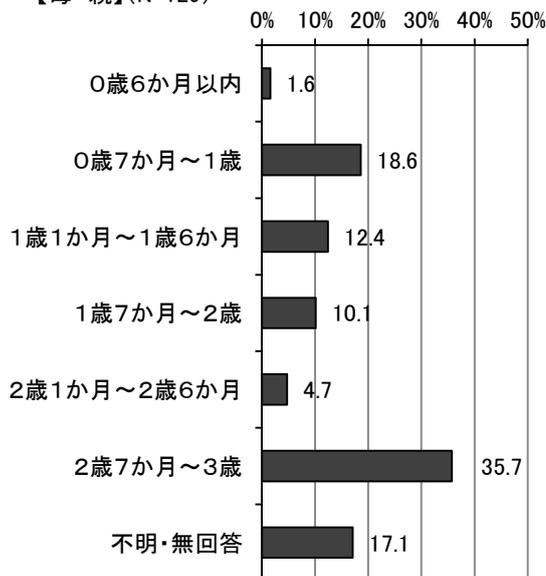
(1) - 5 職場に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」として子どもが何歳何か月のときまで取得したかったか〈数量回答〉

〔就学前児童調査…問 30-5〕

職場に育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合に、子どもが何歳何か月のときまで取得したかったかについてみると、母親では「2歳7か月～3歳」が35.7%と最も高くなっています。

※【父親】「6か月以内」に2件、「1歳～1歳6か月未満」に1件の回答がありました。

【母親】(N=129)

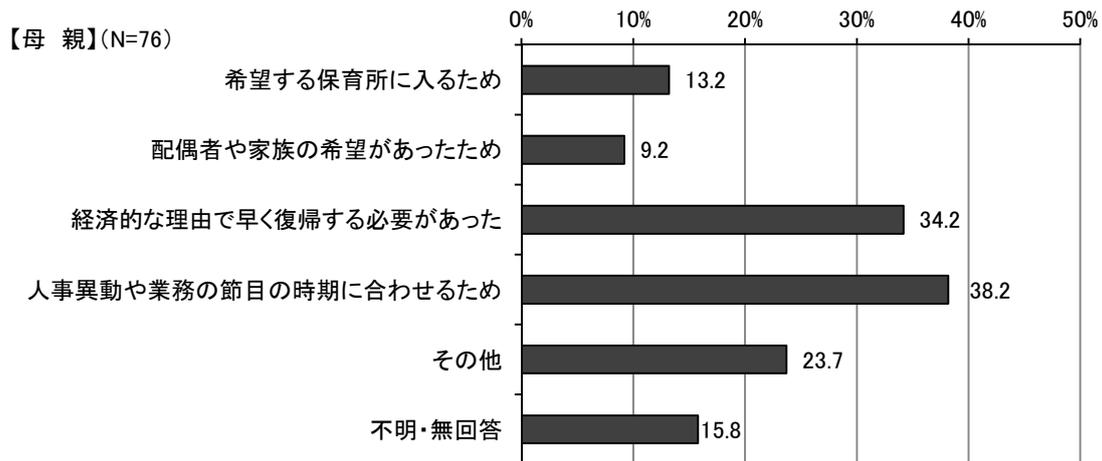


(1) - 4で実際の復帰と希望が異なる方

(1) - 6 希望の時期に職場復帰しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 30-6〕

育児休業期間の実際と希望が異なる方の、希望の時期に職場復帰しなかった理由についてみると、母親で『希望』より早く復帰した方では「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が38.2%と最も高くなっています。また、『希望』より遅く復帰した方では「配偶者や家族の希望があったため」が1件となっています。

①「希望」より早く復帰した方



※【父親】「配偶者や家族の希望があったため」「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」にそれぞれ1件の回答がありました。

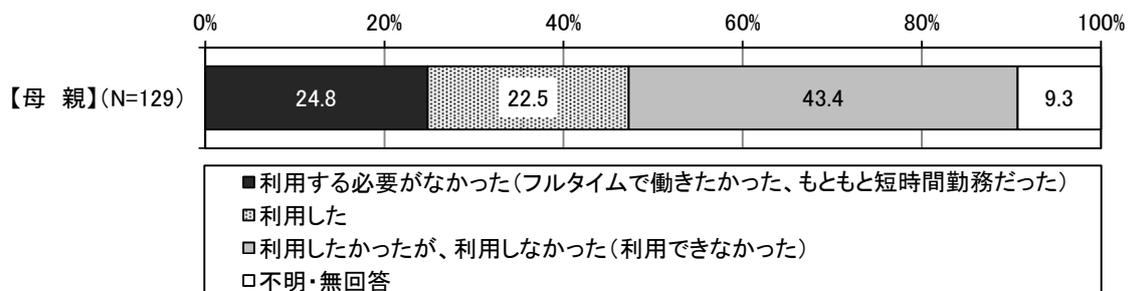
②「希望」より遅く復帰した方

※【母親】「配偶者や家族の希望があったため」に1件の回答がありました。

※【父親】回答はありませんでした。

(1) - 7 職場復帰時の短期勤務制度の利用状況〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30-7〕

短期勤務制度の利用状況についてみると、母親では「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が43.4%と最も高くなっています。



※【父親】「利用する必要がなかった」に3件、

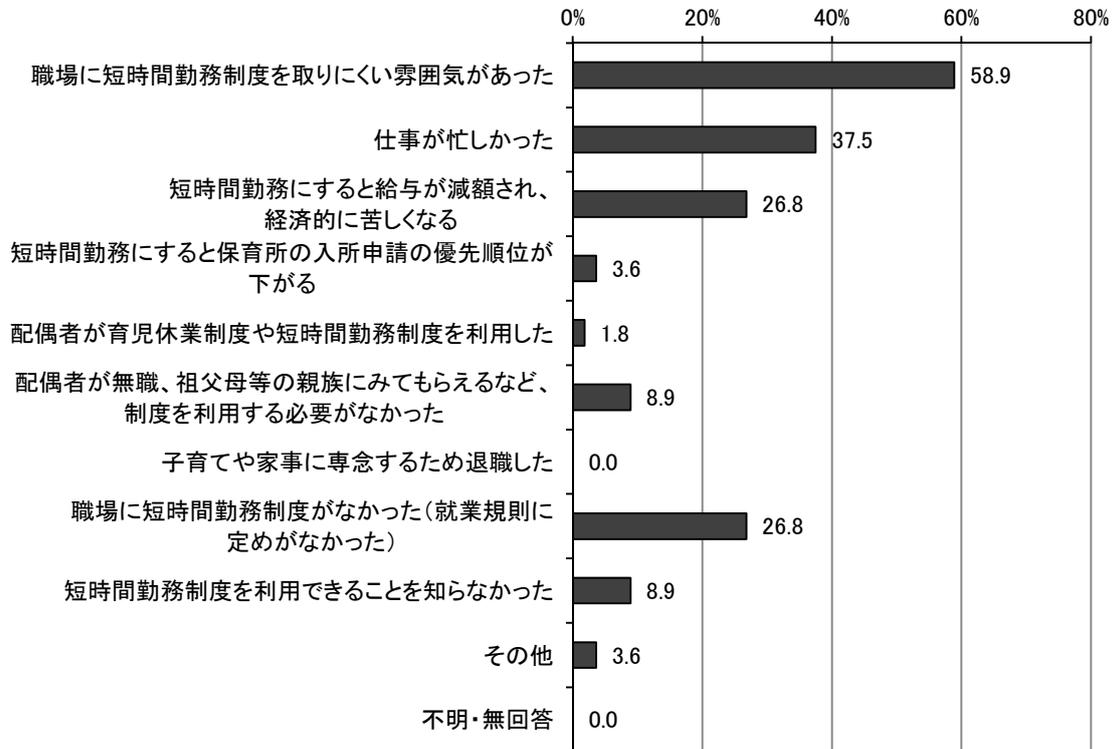
「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」に1件の回答がありました。

(1) - 7で「利用しなかったが、利用しなかった(利用できなかった)」を選んだ方

(1) - 8 短時間勤務制度を利用しなかった理由〈複数回答〉〔就学前児童調査…問 30-8〕

短期勤務制度を利用しなかった理由についてみると、母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が58.9%と最も高く、次いで「仕事が忙しかった」が37.5%となっています。

【母親】(N=56)

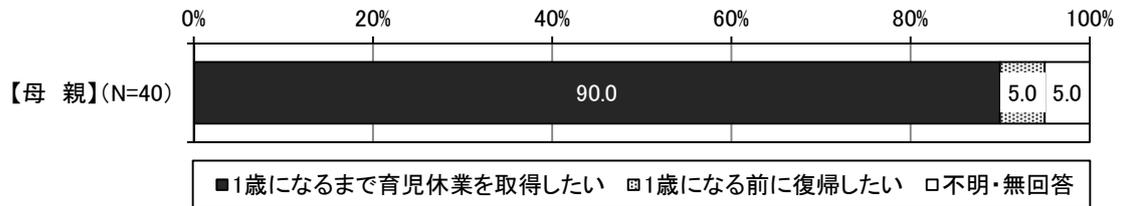


※【父親】「仕事が忙しかった」に1件の回答がありました。

(1) - 2で「現在も育児休業中である」を選んだ方

(1) - 9 子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか〈単数回答〉〔就学前児童調査…問 30-9〕

現在も育児休業中の方で、子どもが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するかについてみると、母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が90.0%と最も高くなっています。



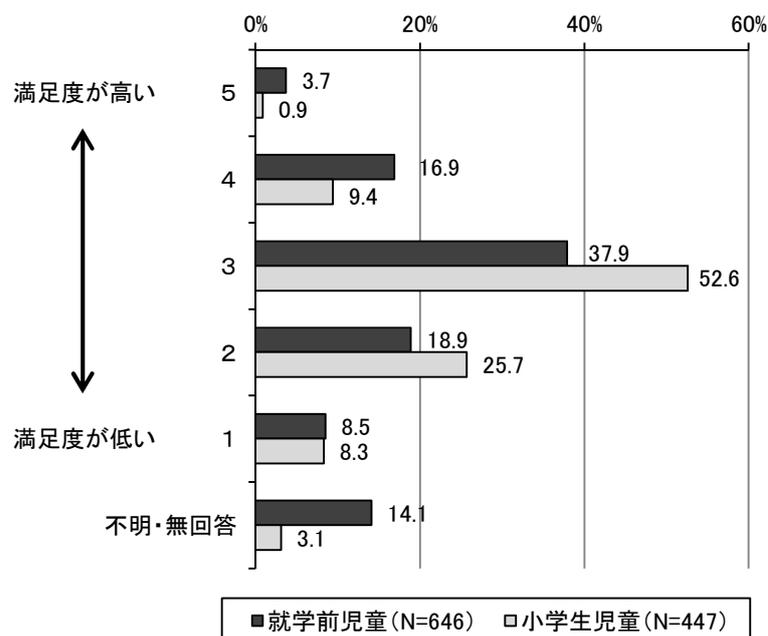
※【父親】回答はありませんでした。

13 宍粟市の地域における子育て環境や、支援の満足度について

(1) 地域における子育て環境や、支援への満足度〈単数回答〉

〔就学前児童調査…問 31、小学生児童調査…問 24〕

地域における子育て環境や、支援への満足度についてみると、「3」が就学前児童で 37.9%、小学生児童で 52.6%と最も高く、次いで「2」が就学前児童で 18.9%、小学生児童で 25.7%となっています。



◆教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関する意見〈自由回答〉

〔就学前児童調査…問 32、小学生児童調査…問 25〕

**宍粟市 子ども・子育て支援 新制度におけるニーズ調査
【結果報告書】**

発行年月日 平成 26 年 3 月
編集・発行 兵庫県 宍粟市

〒671-2573 兵庫県宍粟市山崎町今宿 5 番地 15
宍粟市役所北庁舎

電 話：0790-63-3067 ファックス：0790-63-3062